



ユーザーガイド

© Copyright 2017 HP Development Company, L.P.

Adobe Photoshop および Illustrator は、米国 Adobe Systems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて HP Inc.が使用しています。Intel および Thunderbolt は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Cortana および Windows は、米国 Microsoft Corporation およびその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2017年7月

製品番号：913263-291

製品についての注意事項

このユーザーガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

一部の機能は Windows の一部エディションまたはバージョンでは使用できません。システムで Windows の機能を最大限に活用するには、アップグレードされたハードウェアや別売のハードウェア、ドライバやソフトウェア、または BIOS の更新が必要になる場合があります。Windows 10 は自動的に更新され、自動更新は常に有効になっています。更新中にプロバイダー料金がかかったり追加要件が適用されたりすることがあります。<http://www.microsoft.com/> を参照してください。

お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして **【製品から探す】** を選択し、画面の説明に沿って操作します。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用するによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、販売店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの代金の返金を要求する場合は、販売店に問い合わせてください。

お使いの製品は Windows 8 または Windows 7 をサポートしていません。HP は、Microsoft のサポートポリシーに従い、この製品での Windows 8 または Windows 7 オペレーティングシステムのサポート、または <http://www.hp.com/jp/support/> での Windows 8 または Windows 7 のドライバの提供を行いません。

安全に関するご注意

⚠ **警告！** 低温やけどをするおそれがありますので、ひざなどの体の上にコンピューターを置いて使用したり、肌に直接コンピューターが触れている状態で長時間使用したりしないでください。肌が敏感な方は特にご注意ください。また、コンピューターが過熱状態になるおそれがありますので、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターが過熱状態になると、やけどやコンピューターの損傷の原因になる可能性があります。コンピューターは、硬く水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950-1) で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に適合しています。

目次

1 ようこそ	1
情報の確認	2
2 各部の名称と機能概要	3
ハードウェアの確認	3
ソフトウェアの確認	3
右側面の各部	4
左側面の各部	6
前面の各部	8
キーボードドックの各部	11
タッチパッド	11
ランプ	12
キーボードのコネクタ、ボタン、およびステータスランプ	13
特別なキー	14
操作キー	15
ホットキー	15
USBポートおよびスマートカードリーダー/ペンホルダースロット（一部の製品のみ）	16
キーボードドックへのタブレットの接続	17
キーボードドックからのタブレットの取り外し	18
無線でのキーボードの使用	18
Bluetoothのペアリングの自動設定	19
Bluetoothのペアリングの手動設定	19
上面の各部	19
裏面の各部	20
背面の各部	20
ラベル	21
HP ZBook x2 ペン（別売）	23
3 ネットワーク接続	25
無線ネットワークへの接続	25
無線コントロールの使用	25
無線ボタン	25
オペレーティングシステムの制御機能	25
無線LANへの接続	26

GPS の使用（一部の製品のみ）	26
Bluetooth 無線デバイスの使用（一部の製品のみ）	26
Bluetooth デバイスの接続	27
NFC を使用した情報の共有（一部の製品のみ）	27
共有	27
[HP MAC Address Manager]を使用したネットワーク上でのコンピューターの識別（一部の製品のみ）	28
システムの MAC アドレスの有効化およびカスタマイズ	28

4 画面の操作 29

タッチ패드およびタッチ スクリーン ジェスチャの使用	29
タップ	29
2 本指ピンチ ズーム	30
2 本指スクロール（タッチパッドのみ）	30
2 本指タップ（タッチパッドのみ）	30
4 本指タップ（タッチパッドのみ）	31
3 本指スワイプ（タッチパッドのみ）	31
1 本指スライド（タッチ スクリーンのみ）	32
別売のキーボードまたはマウスの使用	32
スクリーン キーボードの使用（一部の製品のみ）	32

5 [HP Create Control Panel]ソフトウェア 33

[HP Create Control Panel]ソフトウェアの起動	33
ツールのカスタマイズ	33
HP クイック キーのカスタマイズ	33
別売のペンのカスタマイズ	34
ペンの高度なカスタマイズ	34
消しゴムのカスタマイズ	35
ボタンの機能	35
ペンの調整	37
詳細オプションの設定	38
アプリケーションの追加	38
[Radial Menu]（放射型メニュー）のオンスクリーン コントロール表示のカスタマイズ	39
デバイスの追加	40
ツールの追加	40
仮想デスクトップを使用したボタン マッピングの表示	41
設定のバックアップおよび復元	41
高度な設定のインポート	41
[HP Create Control Panel]ソフトウェアの更新	42


ソフトウェアのバージョンの確認	42
ソフトウェア更新プログラムのダウンロード	42
トラブルシューティング	43
6 エンターテインメント機能	44
カメラの使用（一部の製品のみ）	44
オーディオの使用	44
スピーカーの接続	44
ヘッドフォンの接続	44
ヘッドセットの接続	45
サウンド設定の使用	45
動画の視聴	46
USB Type-C ケーブルを使用したビデオ デバイスの接続（一部の製品のみ）	46
HDMI ケーブルを使用したビデオ デバイスの接続（一部の製品のみ）	47
HDMI オーディオの設定	48
Miracast 対応無線ディスプレイの検出および接続（一部の製品のみ）	48
7 電源の管理	49
スリープおよび休止状態の使用	49
スリープの開始および終了	49
休止状態の開始および終了（一部の製品のみ）	50
コンピューターのシャットダウン	50
[電源]アイコンおよび電源オプションの使用	51
バッテリー電源での駆動	51
HP ファスト チャージの使用（一部の製品のみ）	52
バッテリー充電残量の表示	52
[HP Support Assistant]（一部の製品のみ）でのバッテリー情報の確認	52
バッテリーの節電	52
ロー バッテリー状態の確認	53
ロー バッテリー状態の解決	53
外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態への対処方法	53
外部電源を使用できない場合のロー バッテリー状態への対処方法	53
休止状態を終了できない場合のロー バッテリー状態への対処方法	53
出荷時に搭載されているバッテリー	53
外部電源での駆動	54
キーボード ドックの電源管理	55
バッテリー充電残量の表示	55
キーボードのロー バッテリー状態の解決	55

8 セキュリティ	56
コンピューターの保護	56
パスワードの使用	57
Windows でのパスワードの設定	57
[Computer Setup]でのパスワードの設定	58
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の管理	58
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力	59
[Windows Hello]の使用 (一部の製品のみ)	59
ウイルス対策ソフトウェアの使用	60
ファイアウォールソフトウェアの使用	60
ソフトウェア更新プログラムのインストール	61
[HP Client Security]の使用 (一部の製品のみ)	61
[HP Touchpoint Manager]の使用 (一部の製品のみ)	61
別売のセキュリティ ロック ケーブルの使用 (一部の製品のみ)	61
指紋認証システムの使用 (一部の製品のみ)	61
指紋認証システムの位置	62
9 メンテナンス	63
パフォーマンスの向上	63
[ディスク デフラグ]の使用	63
[ディスク クリーンアップ]の使用	63
[HP 3D DriveGuard]の使用 (一部の製品のみ)	63
[HP 3D DriveGuard]の状態の確認	64
プログラムおよびドライバーの更新	64
コンピューターの清掃	64
清掃手順	65
ディスプレイの清掃	65
側面またはカバーの清掃	65
タッチパッド、キーボード、またはマウス (一部の製品のみ) の清掃	65
コンピューターの持ち運びまたは送付	66
10 バックアップおよび復元	67
リカバリ メディアおよびバックアップの作成	67
[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアの作成 (一部の製品のみ)	68
Windows ツールの使用	69
復元	69
[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) を使用した復元	70
開始する前に確認しておくべきこと	70
HP 復元用パーティションの使用 (一部の製品のみ)	71

[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用した復元	71
コンピューターのブート順序の変更	71
HP 復元用パーティションの削除 (一部の製品のみ)	72
11 [Computer Setup] (BIOS)、TPM、および[HP Sure Start]	73
[Computer Setup]の使用	73
[Computer Setup]の開始	73
[Computer Setup]での移動および選択	73
[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元	74
BIOS の更新	74
BIOS のバージョンの確認	74
BIOS 更新プログラムのダウンロード	75
ブート順序の変更	76
TPM BIOS の設定 (一部の製品のみ)	76
[HP Sure Start]の使用 (一部の製品のみ)	76
12 [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用	77
[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の USB デバイスへのダウンロード	78
13 仕様	79
入力電源	79
動作環境	79
14 静電気対策	80
15 ユーザー サポート	81
サポートされている支援技術	81
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	81
索引	82

1 ようこそ

最大限に活用するため、コンピューターのセットアップおよび登録が終了したら、以下の操作を行うことをおすすめします。

- **ヒント**：開いているアプリケーションまたは Windows® デスクトップからコンピューターのスタート画面にすばやく戻るには、キーボードの Windows キー  を押します。Windows キーをもう一度押すと、前の画面に戻ります。
- **インターネットへの接続**：インターネットに接続できるように、有線ネットワークまたは無線ネットワークをセットアップします。詳しくは、[25 ページの「ネットワーク接続」](#)を参照してください。
- **ウイルス対策ソフトウェアの更新**：ウイルスによる被害からコンピューターを保護します。このソフトウェアは、お使いのコンピューターにプリインストールされています。詳しくは、[60 ページのウイルス対策ソフトウェアの使用](#)を参照してください。
- **コンピューター本体の確認**：お使いのコンピューターの各部や特徴を確認します。詳しくは、[3 ページの「各部の名称と機能概要」](#) および [29 ページの「画面の操作」](#) を参照してください。
- **インストールされているソフトウェアの確認**：コンピューターにプリインストールされているソフトウェアの一覧を表示します。
[スタート] ボタンを選択します。
または
[スタート] ボタンを右クリックし、[アプリと機能] を選択します。
- **リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュドライブを作成して、ハードドライブをバックアップします。** [67 ページの「バックアップおよび復元」](#) を参照してください。

情報の確認

このガイドに記載されている情報を確認した後は、下の表に記載されている説明書や Web サイトも参照してください。

リソース	内容
『セットアップ手順』ポスター（印刷物）	<ul style="list-style-type: none">コンピューターのセットアップおよび機能の概要
HP のサポート 日本でのサポートについては、 http://www.hp.com/jp/support/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、 http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください	<ul style="list-style-type: none">HP のサービス担当者とオンラインでチャットするHP のサポート窓口の電話番号を調べる部品交換の動画（一部の製品のみ）メンテナンスおよびサービスガイドHP のサービスセンターを探す
『快適に使用していただくために』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います ▲ 【スタート】 ボタン→ 【HP Help and Support】 （HP ヘルプとサポート）→ 【HP Documentation】 （HP ドキュメント）の順に選択します または ▲ 【スタート】 ボタン→ 【HP】 → 【HP Documentation】 の順に選択します または ▲ http://www.hp.com/ergo/ （英語サイト）から 【日本】 を選択します 重要： 最新バージョンのユーザーガイドを参照するには、インターネットに接続する必要があります	<ul style="list-style-type: none">正しい作業環境の整え方快適だけがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドライン電気的および物理的安全基準に関する情報
『規定、安全、および環境に関するご注意』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います ▲ 【スタート】 ボタン→ 【HP Help and Support】 → 【HP Documentation】 の順に選択します または ▲ 【スタート】 ボタン→ 【HP】 → 【HP Documentation】 の順に選択します	<ul style="list-style-type: none">重要な規定情報（必要に応じて、バッテリーの処分方法に関する情報など）
限定保証規定* 日本向けの日本語モデルに適用される HP 限定保証規定は、製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています	<ul style="list-style-type: none">このコンピューターの具体的な保証内容
* HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いの製品に収録されているドキュメントまたは製品に付属の CD や DVD に収録されているドキュメントに示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』が付属しています。また、日本以外でも、印刷物の保証規定が製品に付属している国や地域もあります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、コピーを入手できます。 http://www.hp.com/go/orderdocuments/ でオンラインで申し込むか、アジア太平洋地域で購入された製品につきましては、POD, PO Box 161, Kitchener Road Post Office, Singapore 912006 宛てに郵送でも申し込めます。その場合は、お使いの製品名、およびお客様のお名前、お電話番号、ご住所をご明記ください。	

2 各部の名称と機能概要

このコンピューターは最高級レベルのコンポーネントを備えています。この章では、各部の詳細、場所、およびその機能について説明します。

ハードウェアの確認

どのようなハードウェアがコンピューターに取り付けられているかを調べるには、以下の操作を行います。

- ▲ タスクバーの検索ボックスで「デバイス マネージャー」と入力して、**[デバイス マネージャー]** アプリを選択します。

コンピューターに取り付けられているすべてのデバイスの一覧が表示されます。

システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報を確認するには、**fn + esc** キーを押します（一部の製品のみ）。

ソフトウェアの確認

コンピューターにインストールされているソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。

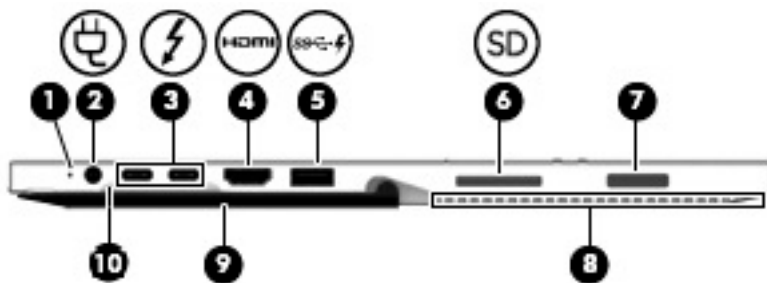
- ▲ **[スタート]** ボタンを選択します。





または

[スタート] ボタンを右クリックし、**[アプリと機能]** を選択します。

 **注記**：ソフトウェアによっては表示されないものもあります。

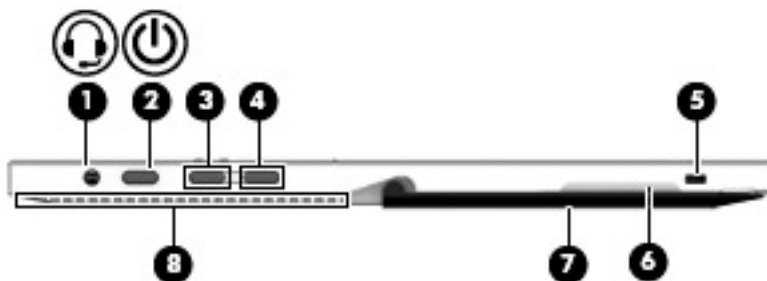
右側面の各部






名称	説明
(1) バッテリー ランプ	<p>外部電源が接続されている場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> 白色：バッテリーの充電が90%を越えています オレンジ色：バッテリーの充電が0～90%完了しています 消灯：バッテリーが充電されていません <p>外部電源が接続されていない（バッテリーが充電されていない）場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> オレンジ色で点滅：バッテリーがローバッテリー状態に達しています。完全なローバッテリー状態になった場合は、バッテリーランプがすばやく点滅し始めます 消灯：バッテリーが充電されていません
(2)  電源コネクタ	AC アダプターを接続します
(3)  USB Type-C 電源ポートおよび Thunderbolt™ ポート (HP スリープおよび充電機能付き) (*2)	<p>USB Type-C コネクタのある AC アダプターを接続して、コンピューターに電力を供給し、必要に応じてコンピューターのバッテリーを充電します</p> <p>および</p> <p>携帯電話、カメラ、活動量計、スマートウォッチなど、Type-C ポートがあるほとんどの USB デバイスを接続して充電し、データを高速で転送します</p> <p>注記：ケーブルやアダプター（別売）が必要な場合があります</p> <p>および</p> <p>USB Type-C ポートのあるディスプレイを接続して、DisplayPort 信号を出力します</p> <p>注記：お使いのコンピューターは、Thunderbolt ドッキングステーションもサポートしている場合があります</p>
(4)  HDMI 出力端子	HD 対応テレビなどの別売のビデオデバイスやオーディオデバイス、対応するデジタルコンポーネントやオーディオコンポーネント、または高速 HDMI (High-Definition Multimedia Interface) デバイスを接続します
(5)  USB 3.x SuperSpeed ポート (HP スリープおよび充電機能付き)	USB デバイスを接続し、高速データ転送を行い、コンピューターの電源が入っていないときでも、携帯電話、カメラ、活動量計、スマートウォッチなどのほとんどの製品を充電できます

名称		説明
(6)	SD メディアカードスロット	<p>情報の保存、管理、共有、およびアクセスを可能にする別売のメディアカードを読み取ります</p> <p>カードを挿入するには、以下の操作を行います</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます 2. メディアカードスロットにカードを挿入し、しっかりと収まるまでカードを押し込みます <p>カードを取り出すには、以下の操作を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲ カードをいったんメディアカードスロットに押し込んで、固定を解除してから取り出します
(7)	指紋認証システム（一部の製品のみ）	パスワードの代わりに指紋認証を使用してログオンできます
(8)	通気孔	<p>コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します</p> <p>注記：（ファンレスモデルを除く）コンピューターのファンは、内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐために自動的に作動します。通常の実行を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です</p>
(9)	キックスタンド	ディスプレイをさまざまな表示角度に固定できます
(10)	キックスタンドアクセスタブ	コンピューターの背面からキックスタンドを引き出すときに使用します

左側面の各部




名称	説明
(1)  オーディオ出力 (ヘッドホン) / オーディオ入力 (マイク) コンボ コネクタ	<p>別売または市販の別途電力が供給されているステレオスピーカー、ヘッドホン、イヤホン、ヘッドセット、テレビオーディオケーブルなどを接続します。市販のヘッドセットマイクを使用する場合もここに接続します。このコネクタは、市販の単独のマイクには対応していません</p> <p>警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドホン、イヤホン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください</p> <p>このガイドを表示するには、以下の操作を行います</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して [HP Support Assistant] アプリを選択します または タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします 2. [自分の PC] → [仕様] タブ → [ユーザー ガイド] の順に選択します <p>注記： コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります</p>
(2)  電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります ● コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます ● コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了します ● コンピューターが休止状態のときにボタンを短く押すと、休止状態が終了します <p>注意： 電源ボタンを押したままにして電源を切断すると、保存されていない情報は失われます</p> <p>コンピューターが応答せず、シャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを5秒程度押したままにすると、コンピューターの電源が切れます</p> <p>電源設定について詳しくは、電源オプションを確認してください</p> <p>▲ [電源メーター] アイコン  を右クリックして [電源オプション] を選択します</p>

名称	説明
(3) 音量上げボタン	このボタンを押したままにすると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります
(4) 音量下げボタン	このボタンを押したままにすると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります
(5) セキュリティロックケーブル用スロット	別売のセキュリティロックケーブルをコンピューターに接続します 注記: セキュリティロックケーブルに抑止効果はありませんが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
(6) キックスタンドアクセスタブ	コンピューターの背面からキックスタンドを引き出すときに使用します
(7) キックスタンド	ディスプレイをさまざまな表示角度に固定できます
(8) 通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記: (ファンレスモデルを除く) コンピューターのファンは、内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐために自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です

前面の各部



 **注記:** このコンピュータには HP クイック キーがあります。HP クイック キーを使用すると、アプリにすばやくアクセスできます。また、このキーは、よく使用するキー コマンドを、1つのボタンを押すだけで実行するようにカスタマイズできます。

名称	説明
(1) HP クイック キーのカスタマイズ可能なボタン	<p>このボタンを押すと、カスタマイズされた操作を実行できます。初期設定では「参照」機能が割り当てられていて、カスタマイズ可能なボタンおよび別売のペンのための対話型の仮想デスクトップオーバーレイが表示されます。オーバーレイには、各ボタンで実行するようにマッピングされている機能が表示されます。詳しくは、41 ページの仮想デスクトップを使用したボタンマッピングの表示を参照してください</p> <p>ボタンの設定をカスタマイズするには、33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」を参照してください</p>
(2) HP クイック キーのカスタマイズ可能なボタン	<p>このボタンを押すと、カスタマイズされた操作を実行できます。初期設定では「元に戻す」機能が割り当てられています</p> <p>ボタンの設定をカスタマイズするには、33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」を参照してください</p>
(3) HP クイック キーのカスタマイズ可能なボタン	<p>このボタンを押すと、カスタマイズされた操作を実行できます。初期設定では「タッチ オン/オフ」機能が割り当てられています。タッチ オプションのオン/オフが切り替わります</p> <p>ボタンの設定をカスタマイズするには、33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」を参照してください</p>
(4) HP クイック キーのモード選択ボタン	<p>このボタンを押すと、上の 2 つの HP クイック キー（上向き矢印および下向き矢印のキー）で実行される操作を、カスタマイズされた 3 つのオプションの間で切り替えることができます。HP クイック キーのモードランプで、3 つのモードのどれが有効になっているか確認できます</p> <p>初期設定では、左側のボタンだけを制御します。左右を変更して選択内容をミラーリングできます。33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」を参照してください</p>

名称	説明
(5) HP クイック キーのカスタマイズ可能なボタン	<p>このボタンを押すと、カスタマイズされた操作を実行できます。最大3つの操作があり、選択したモードによって異なります。モードの選択には、HP クイック キーのモード選択ボタンを使用します。HP クイック キーのモードランプによって、有効になっているモードが示されます。初期設定の操作は以下のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仮想デスクトップを左に切り替える • 現在のウィンドウを左にスナップする • [エクスプローラー]を表示する <p>ボタンの設定をカスタマイズするには、33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」を参照してください</p>
(6) HP クイック キーのカスタマイズ可能なボタン	<p>このボタンを押すと、カスタマイズされた操作を実行できます。最大3つの操作があり、選択したモードによって異なります。モードの選択には、HP クイック キーのモード選択ボタンを使用します。HP クイック キーのモードランプによって、有効になっているモードが示されます。初期設定の操作は以下のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仮想デスクトップを右に切り替える • 現在のウィンドウを右にスナップする • デスクトップを表示する <p>ボタンの設定をカスタマイズするには、33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」を参照してください</p>
(7) HP クイック キーのモードランプ	<p>使用中のモードのランプが点灯します。初期設定では、左側のモードランプは、左上にある HP クイック キーのカスタマイズ可能なボタンが使用されているときに点灯し、右側のモードランプは、右上にある HP クイック キーのカスタマイズ可能なボタンが使用されているときに点灯します。ランプは HP クイック キーのモードボタンで実行するように設定されている機能に応じて点灯し、ボタンを押すたびに次のランプに切り替わります</p>
(8) 無線 LAN アンテナ*	無線ローカルエリアネットワーク（無線 LAN）で通信する無線信号を送受信します
(9) カメラランプ（一部の製品のみ）	1つまたは複数のカメラの使用中に点灯します
(10) 内蔵マイク	サウンドを集音、録音します
(11) カメラ（一部の製品のみ）	<p>ビデオチャットを利用したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりできます。カメラを使用するには、44 ページのカメラの使用（一部の製品のみ）を参照してください。一部のカメラでは、パスワードログオンの代わりに顔認識を使用してログオンすることもできます。詳しくは、59 ページの[Windows Hello]の使用（一部の製品のみ）を参照してください</p> <p>注記：カメラの機能は、お使いの製品に搭載されているカメラのハードウェアおよびソフトウェアによって異なります</p>
(12) HP クイック キーのモード選択ボタン	<p>このボタンを押すと、上の2つの HP クイック キー（上向き矢印および下向き矢印のキー）で実行される操作を、カスタマイズされた3つのオプションの間で切り替えることができます。HP クイック キーのモードランプで、3つのモードのどれが有効になっているか確認できます</p> <p>初期設定では、右側のボタンだけを制御します。左右を変更して選択内容をミラーリングできます。33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」を参照してください</p>

名称	説明
(13) HP クイック キーのカスタマイズ可能なボタン	<p>このボタンを押すと、カスタマイズされた操作を実行できます。初期設定の操作は「画面の回転のロック」です。画面の回転のオン/オフが切り替わります</p> <p>ボタンの設定をカスタマイズするには、33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」を参照してください</p>
(14) HP クイック キーのカスタマイズ可能なボタン	<p>このボタンを押すと、カスタマイズされた操作を実行できます。初期設定は「アクションセンター」です。Windows の[アクションセンター]が表示されます</p> <p>ボタンの設定をカスタマイズするには、33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」を参照してください</p>
(15) HP クイック キーのカスタマイズ可能なボタン	<p>このボタンを押すと、カスタマイズされた操作を実行できます。初期設定の操作は「Cortana® Voice」です。Windows のパーソナルアシスタントが起動します</p> <p>ボタンの設定をカスタマイズするには、33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」を参照してください</p>

* アンテナはコンピューターの外側からは見えません。また、アンテナの位置は異なる場合があります。送受信が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

お住まいの国または地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

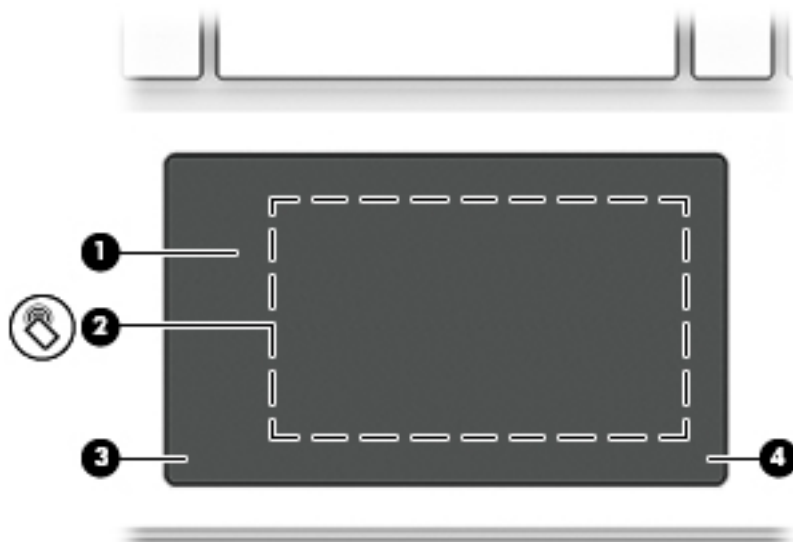
このガイドを表示するには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]ボタン**→**[すべてのアプリ]** (一部の製品ではこの操作が必要です) →**[HP Help and Support]** (HP ヘルプとサポート) →**[HP Documentation]** (HP ドキュメント) の順に選択します。

キーボードドックの各部

お使いのタブレットでは、キーボードを使用できます。このセクションでは、キーボードの機能について説明します。

タッチパッド



名称		説明
(1)	タッチパッドゾーン	指によるジェスチャを読み取り、画面上のポインターを移動したり項目をアクティブにしたりします
(2)	NFC (Near Field Communication : 近距離無線通信) タップエリアおよびアンテナ*	NFC 対応のデバイスでタップすると、情報を無線で共有できます
(3)	左のタッチパッドクリックエリア	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(4)	右のタッチパッドクリックエリア	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

* アンテナはコンピューターの外側からは見えません。送受信が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

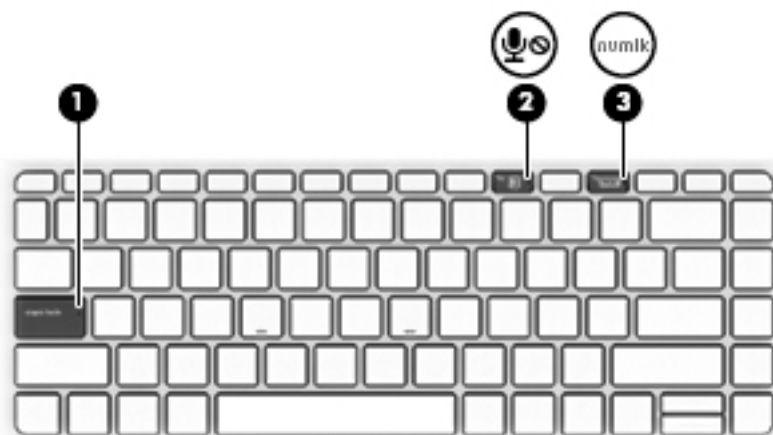
お住まいの国または地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。


このガイドを表示するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。
2. [自分の PC]→[仕様]タブ→[ユーザー ガイド]の順に選択します。

ランプ

 **注記：**下の図は英語版のキー配列です。日本語版とは配列および個別のキーの形が若干異なります。



名称	説明
(1) Caps Lock ランプ	点灯：Caps Lock がオンになっていて、アルファベットが大文字で入力されます
(2)  マイクの消音ランプ	<ul style="list-style-type: none">オレンジ色：マイクのサウンドがオフになっています消灯：マイクのサウンドがオンになっています
(3) Num Lock ランプ	点灯：Num Lock がオンになっています

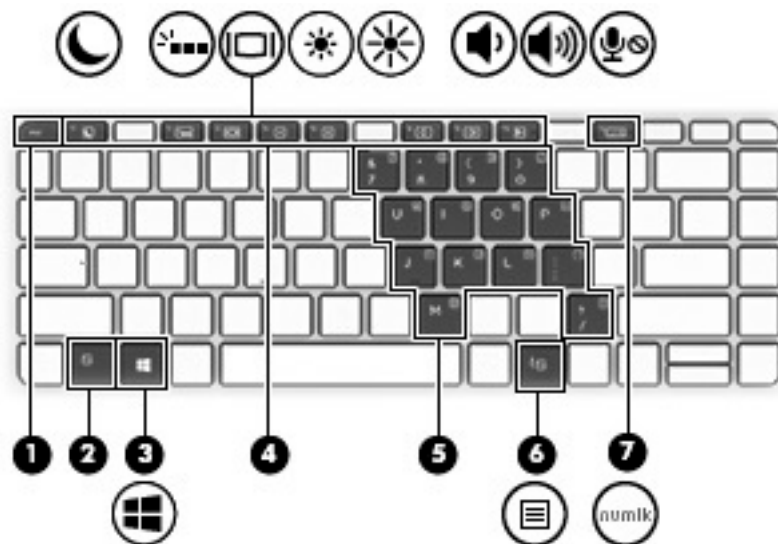
キーボードのコネクタ、ボタン、およびステータスランプ





名称	説明
(1) 位置合わせガイド (×2)	タブレットの位置合わせガイド用コネクタと接続します
(2) ドッキング コネクタ	キーボードをタブレットに接続します このコネクタを使用してキーボードをタブレットに接続すると、キーボードのバッテリーが自動的に充電されます
(3) キーボード ボタン	キーボードのオン/オフを切り替えます。このボタンは、Bluetooth®の手動ペアリングにも使用します
(4) キーボードのステータスランプ	<p>外部電源が接続されている場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤色に点灯：キーボードのバッテリーの充電が15%未満です 白色に点灯：microUSB ポートを使用してキーボードのバッテリーを充電中で、充電は15～99%完了しています 青色に点灯：キーボードはBluetoothを使用してタブレットに接続され、キーボードのバッテリーの充電は100%完了しています 青色で点滅：キーボードはBluetoothを使用してペアリング中です 消灯：キーボードは完全に充電されており、Bluetoothを使用して接続されていません <p>外部電源が接続されていない（バッテリーが充電されていない）場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤色に点灯：キーボードのバッテリーの充電が15%未満です 青色に点灯：キーボードがBluetoothを使用してタブレットに接続されていて、キーボードのバッテリーの充電は15～100%完了しています 青色で点滅：キーボードはBluetoothを使用してペアリング中です 消灯：キーボードがオフになっています <p>注記：キーボード ボタンを押したときに起動に十分な電力がキーボードにない場合、ランプは赤色で数回点滅して消灯します</p>

特別なキー

 **注記：**下の図は英語版のキー配列です。日本語版とは配列および個別のキーの形が若干異なります。











名称	説明
(1) <code>esc</code> キー	<code>fn</code> キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2) <code>fn</code> キー	別のキーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します。これらのキーの組み合わせは操作キーおよびホットキーと呼ばれます 15 ページの操作キー および 15 ページのホットキー を参照してください
(3)  Windows キー	【スタート】 メニューを開きます 注記： Windows キーをもう一度押すと、 【スタート】 メニューを閉じます
(4) 操作キー	<code>fn</code> キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します 15 ページの操作キー を参照してください
(5) 内蔵テンキー	キーボードのアルファベットキーに重なって表示されるテンキーです。 <code>fn</code> + <code>num lk</code> キーを押すと、外付けテンキーと同様に使用できます。オンになっているときに内蔵テンキーのキーを押すと、そのキーの右上または手前側面にあるアイコンで示された機能が実行されます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです 注記： テンキー機能がコンピューターの電源を切ったときに有効だった場合は、次回コンピューターの電源を入れたときにも有効になっています
(6)  Windows アプリケーションキー	選択したオブジェクトのオプションを表示します
(7) <code>num lk</code> キー	<code>fn</code> キーと一緒に押すと、内蔵テンキーのオン/オフが切り替わります

操作キー

操作キーは、キーのアイコンが示す機能を実行します。お使いの製品に備わっているキーを確認するには、[14 ページの特別なキー](#)を参照してください。

▲ 操作キーを使用するには、**fn** キーを押したまま、操作キーを押します。

アイコン	説明
	スリープを開始します。これによって、情報がシステムメモリに保存されます。ディスプレイおよびその他のシステムコンポーネントはオフになり、節電されます。スリープを終了するには、電源ボタンを短く押します 注意： 情報の損失を防ぐために、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください
	キーボードのバックライトのオフ、明るい、暗いを切り替えます（一部の製品のみ） 注記： バッテリー電源を節約するには、この機能をオフにします
	システムに接続されているディスプレイ間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、このキーを繰り返し押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります
	このキーを押したままにすると、画面輝度が一定の割合で徐々に下がります
	このキーを押したままにすると、画面輝度が一定の割合で徐々に上がります
	このキーを押したままにすると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります
	このキーを押したままにすると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります
	マイクをミュート（消音）します

ホットキー

ホットキーは、**fn** キーとその他のキーの組み合わせです。

ホットキーを使用するには、以下の操作を行います。

▲ **fn** キーを押したまま、以下の表に記載されているキーのどれか1つを押します。

キー	説明
C	Scroll Lock がオンになります
E	挿入機能がオンになります
R	操作を中断します
S	プログラミングクエリを送信します
W	操作を一時停止します

USB ポートおよびスマートカードリーダー/ペンホルダー スロット (一部の製品のみ)




名称		説明
(1)	microUSB ポート	<p>microUSB ケーブル (別途購入が必要) を接続します。microUSB ケーブルは、キーボードに電力を供給したり、必要に応じてキーボードのバッテリーを充電したりするために使用できます</p> <p>注記: ドッキング コネクタを使用してキーボードをタブレットに接続すると、キーボードのバッテリーが自動的に充電されます。13 ページのキーボードのコネクタ、ボタン、およびステータスランプを参照してください</p>
(2)	スマートカードリーダー/ペンホルダー スロット	<p>別売または市販のスマートカードに対応しており、ペンホルダーを挿入するスロットにもなります</p> <p>重要: スマートカードの機能を使用するには、キーボードをタブレットに接続する必要があります</p>

キーボードドックへのタブレットの接続

キーボードドックにタブレットを接続するには、以下の操作を行います。

1. タブレットの位置合わせガイド用コネクタをキーボードドックの位置合わせガイドに合わせて、タブレットを押し込みます (1)。
2. キックスタンドを目的の角度に調整します (2)。



 **注記** : キックスタンドを閉じている場合、キーボードを取り付けたままキーボードを回転させて、キーボードの背面がタブレットの背面に接触した状態で固定できます。キーボードがこの位置にある間は、キーボードのキーおよびタッチパッドがロックされ、誤入力防止されます。

キーボードドックからのタブレットの取り外し

タブレットをキーボードから取り外すには、タブレットを引っ張ります。



無線でのキーボードの使用

重要：初期起動時に、キーボードをタブレットとペアリングするように求められます。最初のペアリングについて詳しくは、『セットアップ手順』ポスターを参照してください。

キーボードをタブレットとペアリングすると、タブレットに接続されていないときでも、キーボードを使用できます。キーボードを無線で使用すると、使い方の幅が広がります。

注記：以下の機能を使用する場合は、キーボードをタブレットに接続します。

- [Computer Setup]、つまり BIOS (Basic Input/Output System)
- HP PC Hardware Diagnostics (HP PC ハードウェア診断)
- バックアップ、復元、およびリカバリ

注記：キーボードを無線で接続する場合は、自動ペアリングをおすすめします。

キーボードがタブレットと通信できない場合は、以下を確認してください。

- タブレットの Bluetooth 設定がオンになっていること。[25 ページの「ネットワーク接続」](#)を参照してください。
- キーボードの Bluetooth 設定がオンになっていること。キーボード ボタンのランプが青色になっている必要があります。[13 ページのキーボードのコネクタ、ボタン、およびステータスランプ](#)を参照してください。

必要に応じて、もう一度 Bluetooth のペアリングを設定します。

Bluetooth のペアリングの自動設定

キーボードがタブレットと通信できない場合は、以下の手順に沿って操作し、Bluetooth のペアリングを自動で設定します。

 **注記** : タブレットの Bluetooth 機能をオンにする必要があります。

1. キーボードをタブレットに取り付けます。
[Keyboard Pairing Request] (キーボード ペアリングの要求) 画面が表示されます。
2. 画面に表示される説明に沿って操作し、キーボードをタブレットにペアリングします。

Bluetooth のペアリングの手動設定

キーボードがタブレットと通信できないために自動ペアリングが失敗する場合は、以下の手順に沿って操作し、手動で Bluetooth のペアリングを設定します。

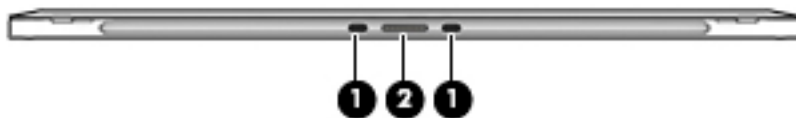
1. キーボードをタブレットから取り外します。
2. タスクバーの検索ボックスで「Bluetooth」と入力して**[Bluetooth and other device settings]** (Bluetooth とその他のデバイス設定) を選択します。
3. Bluetooth がオンになっていない場合はオンにします。
4. キーボード ボタンを 3 秒間以上押します。青色のランプが点滅し始めます。ボタンおよびランプの位置については、[13 ページのキーボードのコネクタ、ボタン、およびステータスランプ](#)を参照してください。
5. **[Add Bluetooth or other device]** (Bluetooth またはその他のデバイスの追加) を選択します。
6. **[Bluetooth]** を選択します。
7. **[HP ZBook x2 Bluetooth Keyboard]** (HP ZBook x2 Bluetooth キーボード) を選択します。
タブレットの画面にパスコードが表示されます。
8. キーボードでパスコードを入力し、**enter** キーを押します。
インストールが継続され、キーボードが接続されます。

上面の各部



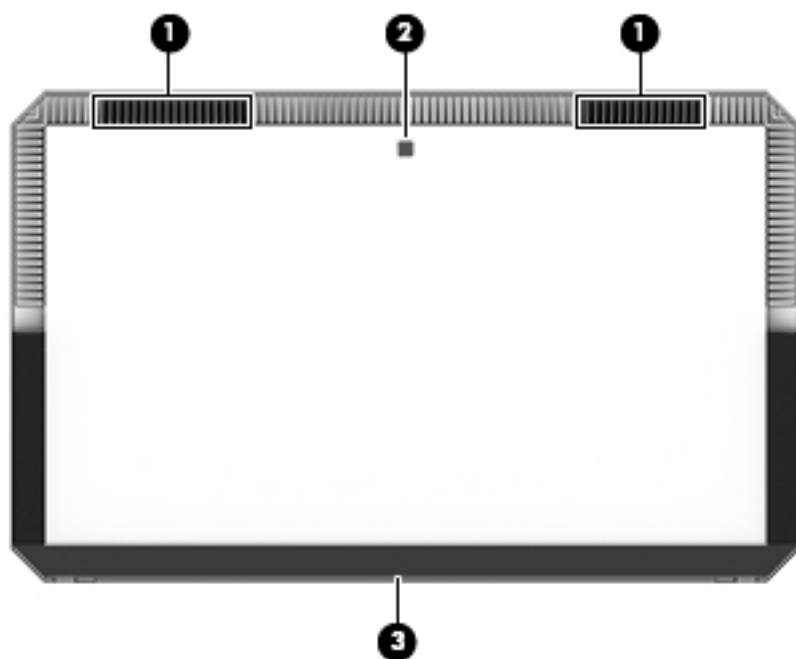
名称	説明
スピーカー	サウンドを出力します

裏面の各部



名称	説明
(1)	位置合わせガイド用コネクタ (×2) キーボードの位置合わせガイドと接続します
(2)	ドッキングステーション用ホール キーボードとの接続部分です

背面の各部



名称	説明
(1)	通気孔 コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記: (ファンレスモデルを除く) コンピューターのファンは、内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐために自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(2)	背面のカメラ (一部の製品のみ) ビデオチャットを利用したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりできます。カメラを使用するには、 44 ページのカメラの使用 (一部の製品のみ) を参照してください
(3)	キックスタンド ディスプレイをさまざまな表示角度に固定できます

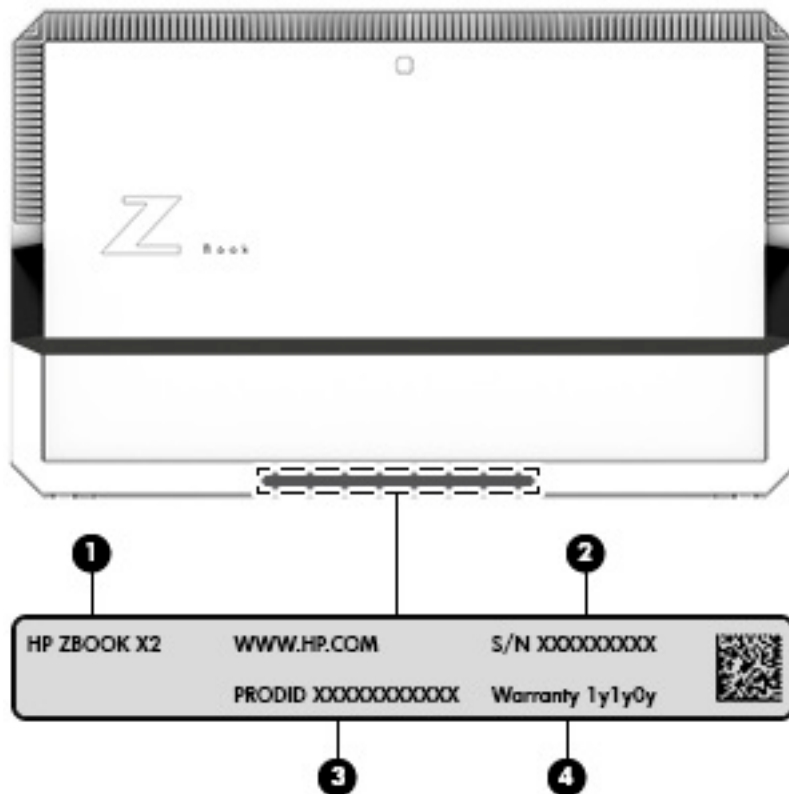
ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決するために問い合わせたり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な基本情報が記載されています。

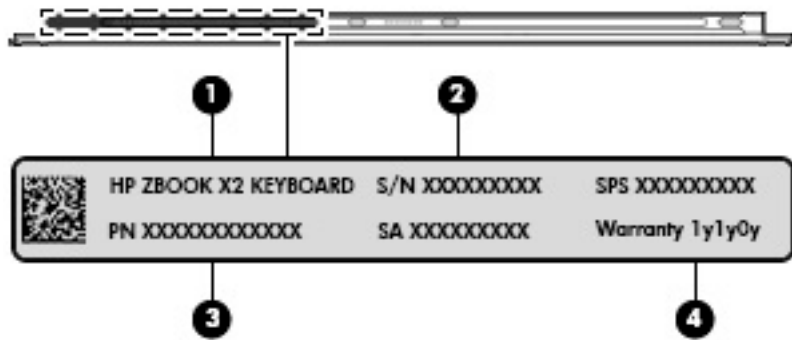
重要：このセクションで説明するラベルの位置については、ディスプレイ背面のキックスタンドの裏およびキーボードの接続部分を確認してください。

- サービスラベル: お使いのコンピューターおよびキーボードを識別するための重要な情報が記載されています。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、シリアル番号や、製品番号またはモデル番号を尋ねられることがあります。お問い合わせになる前に、これらの番号を確認しておいてください。

サービスラベルは、次に示す例のような外観です。



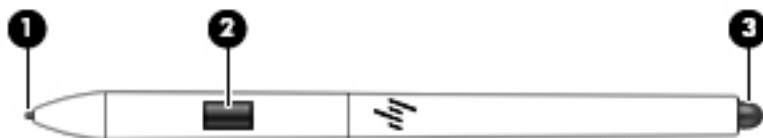
名称	名称
(1) モデル名 (一部の製品のみ)	(3) 製品番号
(2) シリアル番号	(4) 保証期間



名称	名称
(1) モデル名 (一部の製品のみ)	(3) 製品番号
(2) シリアル番号	(4) 保証期間

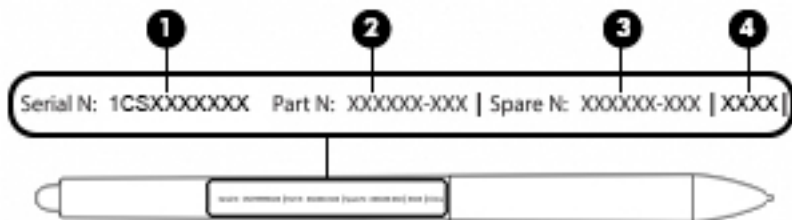
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。
- 無線認定/認証ラベル：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の認定マークが記載されています。

HP ZBook x2 ペン（別売）



名称	説明
(1) ペン先	画面に描画します。ソフトウェアアプリによっては、ペン先に加える圧力を強くすると線が太くなったり濃くなったりするものがあります。ペン先は着脱可能です 注記： ペンにはフェルトおよび POM（ポリアセタール）のペン先が付属しています。ペンからペン先を取り外すには、付属のペン先取り外し用ツールまたはペンケースを使用します
(2) ボタン	ソフトウェアアプリによっては、このボタンでペンの追加の機能を使用できます。 ボタンの設定をカスタマイズするには、 33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」 を参照してください
(3) 消しゴム	ソフトウェアアプリによっては、画面に描いたものを消せます 消しゴムの設定をカスタマイズするには、 33 ページの「[HP Create Control Panel]ソフトウェア」 を参照してください

ペンに貼付されているラベルには、問題を解決するために問い合わせたり、ペンを交換したりするときに必要な基本情報が記載されています。



名称	名称
(1) シリアル番号	(3) スペア番号
(2) 製品番号	(4) バッチ番号

ペンの持ち方は、通常のペンまたは鉛筆と同じです。ペンを持つ位置を調整して、親指または人さし指でペンのボタンを簡単に押せるようにします。ペンで描画したり、位置を調整したりしているときに、誤ってボタンを押さないよう注意してください。

タブレットに付属のソフトウェアを使用して、以下の方法でペンおよびボタンの設定をカスタマイズできます。

- [HP Create Control Panel]ソフトウェア：詳しくは、[33 ページの「\[HP Create Control Panel\]ソフトウェア」](#)を参照してください。
- Windows の[ペンと Windows Ink]ソフトウェアの設定：この設定を表示するには、タスクバーの検索ボックスに「ペン設定」と入力し、**[ペン設定]**→**[ペンと Windows Ink]**の順に選択します。

3 ネットワーク接続

お使いのコンピューターは、どこへでも持ち運べます。しかし、自宅にいるときでも、コンピューターを有線または無線ネットワークに接続して使用すれば、世界中を検索して何百万もの Web サイトの情報を参照できます。この章では、ネットワークで世界と接続する方法について説明します。

無線ネットワークへの接続

お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが1つまたは複数内蔵されている場合があります。

- 無線 LAN デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、コーヒーショップ、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカルエリアネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、コンピューターのモバイル無線デバイスは無線ルーターまたは無線アクセスポイントと通信します。
- Bluetooth デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、タブレット、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナルエリアネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距離になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線コントロールの使用

以下の1つまたは複数の機能を使用して、コンピューター本体の無線デバイスを制御できます。

- 無線ボタン（機内モードキーまたは無線キーとも呼ばれます）（この章ではこれらすべてを無線ボタンと呼びます）
- オペレーティングシステムの制御機能

無線ボタン

コンピューターには無線ボタン、1つまたは複数の無線デバイス、および1つまたは2つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスが有効になっています。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。


オペレーティングシステムの制御機能

オペレーティングシステムの制御機能である[ネットワークと共有センター]では、接続またはネットワークのセットアップ、ネットワークへの接続、およびネットワークの問題の診断と修復が行えます。

[ネットワークと共有センター]にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスに「コントロール」と入力して、[コントロールパネル]を選択します。
2. [ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。


無線 LAN への接続


 **注記**：自宅でインターネットアクセスをセットアップするには、インターネットサービスプロバイダー（ISP）のアカウントを設定する必要があります。インターネットサービスの申し込みおよびモデムの購入については、利用する ISP に問い合わせてください。ほとんどの ISP が、モデムのセットアップ、無線ルーターをモデムに接続するためのネットワークケーブルの取り付け、インターネットサービスのテストなどの作業に関するサポートを提供しています。

無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。
2. タスクバーのネットワークステータスアイコンを選択して、利用可能なネットワークのどれかに接続します。


無線 LAN がセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティコードの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、**[次へ]**を選択して接続を完了します。

 **注記**：無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルーターまたはアクセスポイントの範囲外にいる可能性があります。

 **注記**：接続したい無線 LAN が表示されない場合は、タスクバーのネットワークステータスアイコンを右クリックして、**[ネットワークと共有センターを開く]**を選択します。**[新しい接続またはネットワークのセットアップ]**を選択します。**[接続オプションの一覧]**が表示されて、手動で検索してネットワークに接続したり、新しいネットワーク接続を作成したりするなどの操作を選択できます。

3. 画面の説明に沿って操作し、接続を完了します。

接続完了後、タスクバー右端にあるネットワークステータスアイコンを選択すると、接続の名前およびステータスを確認できます。

 **注記**：動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の実装、ルーターの製造元、および壁や床などの建造物やその他の電子機器からの干渉に応じて異なります。

GPS の使用（一部の製品のみ）

お使いのコンピューターには、GPS（Global Positioning System）デバイスが内蔵されている場合があります。GPS 搭載システムには、GPS 衛星から位置、速度、および方向に関する情報が送信されます。

GPS を有効にするには、Windows のプライバシー設定で位置情報を有効にしてください。

1. タスクバーの検索ボックスで「位置」と入力して、**[位置情報のプライバシー設定]**を選択します。
2. 画面の説明に沿って、位置情報を設定します。

Bluetooth 無線デバイスの使用（一部の製品のみ）

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。


- コンピューター（デスクトップ、ノートブック、タブレット）
- 電話機（携帯、コードレス、スマートフォン）
- イメージングデバイス（プリンター、カメラ）
- オーディオデバイス（ヘッドセット、スピーカー）


- マウス
- 外付けキーボード

Bluetooth デバイスの接続

Bluetooth デバイスを使用する前に、Bluetooth 接続を確立する必要があります。


1. タスクバーの検索ボックスで「Bluetooth」と入力して[Bluetooth and other devices settings] (Bluetooth とその他のデバイス設定) を選択します。
2. Bluetooth がオンになっていない場合はオンにします。
3. お使いのデバイスを一覧から選択し、画面の説明に沿って操作します。

 **注記** : Bluetooth デバイスの検証が必要な場合は、ペアリングコードが表示されます。追加中の Bluetooth デバイスで画面の説明に沿って操作し、デバイスに表示されているコードがペアリングコードと一致することを確認します。詳しくは、当該デバイスに付属の説明書等を参照してください。

 **注記** : お使いのデバイスが一覧に表示されない場合は、そのデバイスで Bluetooth がオンになっていることを確認します。デバイスによっては追加の要件がある場合があるため、当該デバイスに付属の説明書を参照してください。


NFC を使用した情報の共有（一部の製品のみ）

お使いのコンピューターは NFC (Near Field Communication : 近距離無線通信) に対応しており、NFC 対応デバイス間で情報を無線で共有できます。情報を転送するには、携帯電話やその他のデバイスのアンテナでコンピューターのタップエリア (アンテナ) をタップします。NFC およびサポートされるアプリを使用すると、Web サイトを共有したり、連絡先情報を転送したり、電子マネーの支払いや送金を行ったり、NFC 対応のプリンターから印刷したりできます。

 **注記** : お使いのコンピューターのタップエリアの位置については、[3 ページの「各部の名称と機能概要」](#)を参照してください。

共有

1. NFC 機能が有効になっていることを確認します。
 - a. タスクバーの検索ボックスで「ワイヤレス」と入力し、[ワイヤレスデバイスのオンとオフを切り替える]を選択します。
 - b. NFC の設定が[オン]になっていることを確認します。
2. NFC 対応デバイスで NFC タップエリアをタップします。デバイスが接続されると音が鳴ることがあります。

 **注記** : もう一方の NFC デバイスのアンテナの場所を見つけるには、お使いのデバイスの説明書を参照してください。


3. 画面の説明に沿って操作を続行します。

[HP MAC Address Manager]を使用したネットワーク上でのコンピューターの識別（一部の製品のみ）

システムの MAC（Media Access Control）アドレスを有効にすることで、ネットワーク上でお使いのコンピューターおよびその通信を識別するためのカスタマイズ可能な方法が提供されます。このシステムの MAC アドレスにより、お使いのコンピューターがドッキングステーションや外付け無線アダプターなどの外付けデバイス経由で接続されている場合でも一意に識別できます。このアドレスは、初期設定では無効になっています。

システムの MAC アドレスの有効化およびカスタマイズ

1. ネットワークケーブルを、コンピューター、別売のドッキングデバイス、または拡張製品に装備されているネットワークコネクタに接続します。
2. [Computer Setup]（BIOS）を起動します。
 - ▲ タブレットの電源を切ります。電源ボタンを押してすぐに音量下げボタンを押したままにすると、スタートアップメニューが表示されます。**[f10]**をタップして、[Computer Setup]を起動します。

 **注記：** スタートアップメニューの表示後、キーボードのキーは BIOS 機能にのみ使用できます。キーボードのキーを使用してスタートアップメニューを表示することはできません。
3. **[Advanced]**（詳細設定）→**[Host Based MAC Address]**（ホストベース MAC アドレス）の順に選択します。
4. **[Host Based MAC Address]**の右側にあるボックスで、**[System]**（システム）を選択してホストベースの MAC アドレスを有効にするか、**[Custom]**（カスタム）を選択してアドレスをカスタマイズします。
5. ブート順序およびサポートされているデバイスを選択します。
6. [Custom]を選択した場合は、**[MAC ADDRESS]**（MAC アドレス）を選択してカスタマイズされたシステムの MAC アドレスを入力し、**enter** を選択してアドレスを保存します。
7. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の右下隅にある**[Save]**（保存）アイコンを選択してから画面に表示される説明に沿って操作します。
または
[Main]（メイン）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** を選択します。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[HP MAC Address Manager]およびシステムの MAC アドレスの使用方法についての追加のドキュメントを入手するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして**[製品から探す]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

4 画面の操作


以下の1つまたは複数の方法でコンピューター画面を操作できます。

- コンピューター画面で直接タッチ ジェスチャを使用する
- タッチパッドでタッチ ジェスチャを使用する
- 別売のマウスまたはキーボードを使用する
- スクリーンキーボードを使用する
- ポイントスティックを使用する

タッチパッドおよびタッチスクリーン ジェスチャの使用

タッチパッドを使用すると、簡単なタッチ ジェスチャでコンピューターの画面やポインターを操作できます。タッチパッドの左右のボタンを、外付けマウスの対応するボタンと同様に使用することもできます。タッチスクリーン（一部の製品のみ）で操作するには、この章に記載されているジェスチャを使用して直接画面をタッチします。

また、ジェスチャをカスタマイズしたり、ジェスチャ操作のデモンストレーションを確認したりすることもできます。タスクバーの検索ボックスに「コントロール」と入力して、**[コントロールパネル]** → **[ハードウェアとサウンド]**の順に選択します。**[デバイスとプリンター]**で**[マウス]**を選択します。

 **注記：**記載のない場合、タッチ ジェスチャは、タッチパッド上またはタッチスクリーン（一部の製品のみ）上で使用できます。

タップ

タップ/ダブルタップ ジェスチャを使用すると、画面上の項目を選択したり開いたりできます。

- 画面上の項目にマウスカーソルを合わせてから、タッチパッドゾーンまたはタッチスクリーンを1本の指で軽く叩いてその項目を選択します。項目を2回続けて軽く叩いて（「ダブルタップ」と言います）開きます。



2 本指ピンチズーム

2 本指ピンチズームを使用すると、画像やテキストをズームイン（拡大）またはズームアウト（縮小）できます。

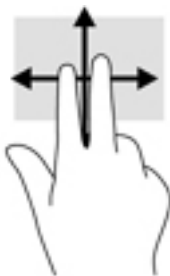
- タッチパッドゾーンまたはタッチスクリーン上で2本の指を互いに離れた状態にして置き、その2本の指の間隔を狭めるとズームアウト（縮小）できます。
- タッチパッドゾーンまたはタッチスクリーン上で2本の指を一緒の状態にして置き、その2本の指の間隔を広げるとズームイン（拡大）できます。



2 本指スクロール（タッチパッドのみ）

2 本指スクロールを使用すると、ページや画像内を上下左右に移動できます。

- 2本の指を少し離してタッチパッドゾーン上に置き、上下左右に動かします。



2 本指タップ（タッチパッドのみ）

2 本指タップを使用すると、画面上の項目のメニューを開くことができます。

 **注記**：2 本指タップでは、マウスを右クリックしたときと同じ機能が実行されます。

- 2本の指でタッチパッドゾーンを軽く叩くと、選択したオブジェクトのオプションメニューが表示されます。



4 本指タップ (タッチパッドのみ)

4 本指タップを使用すると、[アクションセンター]を開くことができます。

- 4 本の指でタッチパッドを軽く叩くと、[アクションセンター]が開き、現在の設定および通知が表示されます。



3 本指スワイプ (タッチパッドのみ)

3 本の指を滑らせると、開いているウィンドウを表示したり、開いているウィンドウとデスクトップを切り替えたりできます。

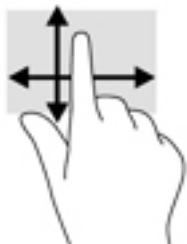
- 3 本の指を手前から奥に滑らせると、開いているすべてのウィンドウが表示されます。
- 3 本の指を奥から手前に滑らせると、デスクトップが表示されます。
- 3 本の指を左または右に滑らせると、開いているウィンドウが切り替わります。



1 本指スライド (タッチスクリーンのみ)

1 本指スライドを使用すると、一覧やページを上下左右にスクロールしたり、オブジェクトを移動させたりできます。

- 画面をスクロールするには、画面上で移動したい方向に1本の指を軽く滑らせます。
- オブジェクトを移動させるには、オブジェクトをタップしたままの状態では指を滑らせます。





別売のキーボードまたはマウスの使用

別売のキーボードまたはマウスを使用すると、入力、項目の選択、スクロールができ、タッチジェスチャを使用する場合と同じ機能の実行が可能です。キーボードを使用すると、操作キーおよびホットキーを使って特定の機能も実行できます。

スクリーンキーボードの使用 (一部の製品のみ)

1. スクリーンキーボードを表示するには、タスクバーの右端の通知領域にあるキーボードアイコンをタップします。
2. 入力を開始します。

 **注記:** スクリーンキーボード上部に推奨する文字が表示される場合があります。文字をタップして選択します。

 **注記:** 操作キーおよびホットキーは、スクリーンキーボードでは表示されないため、利用できません。

5 [HP Create Control Panel]ソフトウェア

タブレットまたはツールをカスタマイズするには、[HP Create Control Panel]ソフトウェアを使用します。ソフトウェアを起動すると、接続されているすべてのコンピューターのアイコン、およびタブレットで使用しているすべてのツールのアイコンが、[Tool]（ツール）リストに表示されます。選択したコンピューターまたはペンに、すべての設定が適用されます。

[HP Create Control Panel]ソフトウェアの起動

- ▲ [スタート]ボタン→[HP Create Control Panel]の順に選択します。
または
Windows タスク トレイから[HP Create Control Panel]アイコンを選択します。
[HP Create Control Panel]ソフトウェアのメイン パネルが表示されます。

ツールのカスタマイズ


デバイスをカスタマイズするには、HP クイック キー、ペン、およびその他の機能のタブにあるコントロールを使用します。変更はすぐに有効になります。


HP クイック キーのカスタマイズ


HP クイック キーをカスタマイズして、作業をすばやく簡単に行うための機能を実行することができます。HP クイック キーおよび HP クイック キーのモード ランプの位置については、[8 ページの前面の各部](#)を参照してください。

HP クイック キーをカスタマイズするには、以下の操作を行います。

1. [HP Create Control Panel]ソフトウェアを起動します。
2. **[Device]**（デバイス）セクションで、カスタマイズするデバイスを選択します。

 **注記：**他のデバイスを追加していない場合は、初期設定の HP ZBook x2 が選択されます。
3. **[Tool]**（ツール）セクションで、**[Functions]**（機能）を選択します。
4. **[Application]**（アプリケーション）セクションで**[All Other Apps]**（他のすべてのアプリ）を選択し、すべてのアプリケーションの設定をカスタマイズします。
または
特定のアプリケーションを選択します。
5. **[HP Quick Keys]**（HP クイック キー）タブを選択します。
6. カスタマイズするモードを選択します。
7. **[Keystroke...]**（キー操作...）などの HP クイック キーの設定の横にある下向き矢印を選択すると、カスタマイズされた設定が表示されます。画面の説明に沿って操作します。カスタマイズ可能な設定について詳しくは、[35 ページのボタンの機能](#)を参照してください。

 **注記** : [Mirror left/right buttons] (左/右のボタンをミラーリング) チェックボックスにチェックを入れた場合、HP クイックキーによって反対側がミラーリングされます。ミラーリングされる側は、Windows のペン設定が左手用と右手用のどちらに設定されているかによって異なります。たとえば、Windows のペン設定が左手用の場合は、右側のボタンが左側の設定にミラーリングされます。Windows のペン設定が右手用の場合は、左側の設定が右側の設定にミラーリングされます。

 **注記** : タブレットおよびペンのボタンマッピングを示す仮想デスクトップオーバーレイを簡単に表示できるように、どれかのボタンを[Reference] (参照) に割り当てるようにしてください。

別売のペンのカスタマイズ

ペン先の感触や圧力、消しゴムの感触、サイドボタン、およびアプリケーション固有のペンの機能に関する設定をカスタマイズします。

ペンをカスタマイズするには、以下の操作を行います。

1. **[HP Create Control Panel]** アプリを起動します。
2. **[Device]** (デバイス) セクションで、カスタマイズするデバイスを選択します。


 **注記** : 他のデバイスを追加していない場合は、初期設定の HP ZBook x2 が選択されます。


3. **[Tool]** (ツール) セクションで、**[ZBook x2 Pen]** (HP ZBook x2 ペン) を選択します。
4. **[Application]** (アプリケーション) セクションで **[All]** (すべて) を選択し、すべてのアプリケーションの設定をカスタマイズします。

または

特定のアプリケーションを選択します。

5. **[Pen]** (ペン) タブを選択し、使用可能なオプションから選択します。
6. 画面の説明に沿って操作します。カスタマイズ可能な設定について詳しくは、[35 ページのボタンの機能](#)を参照してください。

 **注記** : ほとんどのグラフィックスアプリケーションの場合、描画を行うには、ペン先を **[Click]** (クリック) に設定する必要があります。

 **注記** : **[Customize]** (カスタマイズ) ボタンを使用して選択した圧力の詳細設定よりも、**[Tip Feel]** (ペン先の感触) スライダーの設定が優先されます。

ペンの高度なカスタマイズ

ペン先または消しゴムの圧力の設定をさらにカスタマイズするには、以下の操作を行います。

1. **[Pen]** (ペン) タブまたは **[Eraser]** (消しゴム) タブを選択します。
2. **[Customize]** (カスタマイズ) ボタンをクリックします。

[Pen Feel Details] (ペンの感触の詳細) ダイアログボックス内のオプションを使用すると、ペン先または消しゴムの圧力感度およびクリックしきい値設定を別々に変更できます。


3. 左側のラインを使用して、ペンの設定を調整します。ライン上に表示される圧力コントロールの記号を動かすと、設定を変更できます。

- **[Click Threshold]** (クリックのしきい値) で、圧力またはペンのクリックの検知に必要な力の強さを指定します。
 - **[Sensitivity]** (感度) で、圧力応答曲線の傾きを変更します。
 - **[Max Pressure]** (最大圧力) で、最大圧力に達するために必要なペン先を押す強さを指定します。
4. **[Try Here]** (ここで試す) ボックスを使用して、変更の結果をテストします。
 5. **[OK]**を選択して、変更を保存します。

消しゴムのカスタマイズ


消しゴムをカスタマイズするには、以下の操作を行います。


1. **[HP Create Control Panel]**アプリを起動します。
2. **[Device]** (デバイス) セクションで、カスタマイズするデバイスを選択します。

 **注記:** 他のデバイスを追加していない場合は、初期設定の HP ZBook x2 が選択されます。
3. **[Tool]** (ツール) セクションで、**[ZBook x2 Pen]** (HP ZBook x2 ペン) を選択します。
4. **[Application]** (アプリケーション) セクションで**[All]** (すべて) を選択し、すべてのアプリケーションの設定をカスタマイズします。

または

特定のアプリケーションを選択します。
5. **[Eraser]** (消しゴム) タブを選択します。
6. 画面の説明に沿って操作します。カスタマイズ可能な設定について詳しくは、[35 ページのボタンの機能](#)を参照してください。

 **注記:** 圧力レベルを指定するには、画面のカーソルをコントロールパネルの何も無い領域に置き、消しゴムで**[Current Pressure]** (現在の圧力) バーを押します。

 **注記:** **[Customize]** (カスタマイズ) ボタンを使用して選択した圧力の詳細設定よりも、**[Eraser Feel]** (消しゴムの感触) スライダーの設定が優先されます。

ボタンの機能


[HP Create Control Panel]ソフトウェアを使用して、タブレットのツールボタン、HP クイックキー、およびその他の要素に割り当てられている機能をカスタマイズします。ボタンの機能のオプションは異なることがあります。

- クリック
 - **[Click]** (クリック): マウスの左ボタンのクリックをシミュレートします。いつでも移動およびクリックができるように、少なくとも1つのボタンがこの機能を実行するようにしてください。
 - **[Right click]** (右クリック): マウスの右ボタンのクリックをシミュレートして、コンテキストメニューを表示します。
 - **[Middle click]** (中クリック): マウスの中ボタンのクリックをシミュレートします。

- [Double click] (ダブルクリック) : ダブルクリックをシミュレートします。ダブルクリックを簡単にするには、ペン先で2回タップする代わりにこの機能を使用します。
- [4th click or 5th click] (4番目または5番目のクリック) : 4番目または5番目のマウスボタンのクリックをシミュレートします。
- [Keystroke] (キー操作) : **[Define Keystroke]** (キー操作の定義) ダイアログボックスを表示し、HP クイック キー、マウス、およびその他の機能に関するキー操作の組み合わせを作成します。
 - **[Keys]** (キー) ボックスにキー操作の組み合わせを入力します。組み合わせには、文字、数字、ファンクションキー、および修飾キーを含めることができます。**[Add Special]** (特別なキーの追加) リストから組み合わせを選択することもできます。
 - 特定のアプリケーションでサポートされるキー操作のショートカットについては、そのアプリケーションの説明書を参照してください。
- [Modifier] (修飾キー) : **shift**、**alt**、**ctrl** の各修飾キーをシミュレートできるダイアログボックスを表示します。[Key] (キー) 設定を使用して修飾キーの機能を実行し、修飾キーを使用してマウスの関連付けられたボタンを押す操作をシミュレートすることができます。
- [Radial Menu] (放射型メニュー) : [Radial Menu]を表示します。
- [Back and Forward] (戻る/進む) : ブラウザー アプリケーションの戻る/進むコマンドをシミュレートします。
- [Pan/Scroll] (パン/スクロール) : この機能を設定したペン ボタンを押してドキュメントや画像をペン先でドラッグすることにより、タブレットのアクティブな領域内を移動させて配置できます。**[Pan/Scroll]** スライダーを使用すると、手の形をしたマウスポインターによる (ピクセルレベルの) パンをサポートしていないアプリケーションで使用するスクロール速度を設定できます。
- [Scroll Up] (上にスクロール) : アクティブなアプリケーションを上方向にスクロールします。
- [Scroll Down] (下にスクロール) : アクティブなアプリケーションを下方向にスクロールします。
- [Zoom In] (ズームイン) : アクティブなアプリケーションにズームインします。
- [Zoom Out] (ズームアウト) : アクティブなアプリケーションからズームアウトします。
- [Show Desktop] (デスクトップの表示) : 開いているすべてのウィンドウを最小化し、デスクトップを表示します。
- [Switch Application] (アプリケーションの切り替え) : アプリケーションを切り替えるダイアログボックスを一番手前に表示し、開いている次のアプリケーションにフォーカスを当てます。
- [Launchpad] (ローンチパッド) : アプリケーションを起動できるメニューを表示します。
- [Open/Run] (開く/実行) : 開くアプリケーション、ファイル、またはスクリプトを選択するためのダイアログボックスを開きます。項目を参照して選択すると、その項目が**[Name]** (名前) ボックスに表示されます。**[OK]** をクリックし、項目をツール ボタンのオプションとして割り当てます。
- [Pressure Hold] (圧力の維持) : ボタンを放すまで、圧力を現在の圧力レベルに固定します。たとえば、圧力を変えながらペイントし、目的の塗り幅になったところでボタンを押すと、ボタンを放すまで同じ幅でペイントを続けることができます。
- [Erase] (消去) : タッチ操作を消去モードに設定します。
- [Tablet PC Options] (タブレット PC オプション) : Windows の[タブレット PC]設定のメニューを表示します。

- [Disabled] (無効) : ボタンの機能を無効にします。
- [Application Defined] (定義済みアプリケーション) : これは、タブレットをあらかじめサポートしている CAD プログラムなどのアプリケーション用です。ボタンの番号の情報だけをアプリケーションに提供します。HP クイック キーを直接制御するために、一部の統合アプリケーションで使用することもできます。
- [Default] (初期設定) : ボタンを初期設定の機能にリセットします。
- ボタンの機能の切り替え
 - [Precision Mode] (高精度モード) : スライダーを使用して、ペン先の現在位置の周辺にマッピングを変更します。もう一度ボタンを押すと、通常のマッピングに戻ります。
 - [Mode Toggle] (モードの切り替え) : ペン ボタンのこの設定は、ペン モードとマウス モードを切り替えます。マウス モードのときにはじめてボタンを [Mode Toggle] に設定する場合は、スライダーを使用して、画面のカーソルの加速度およびトラッキング速度を調整します。
 - [Touch On/Off] (タッチ オン/オフ) : ペン モードでのみ作業する場合に、[Touch On/Off] を使用します。タッチを無効にするには、[Touch On/Off] に割り当てた HP クイック キーを押します。タッチを有効にするには、HP クイック キーをもう一度押します。
 - [On Screen Keyboard] (スクリーン キーボード) : [On Screen Keyboard] オプションを使用すると、ペン入力やタッチ入力を行うための Windows のスクリーン キーボードの表示/非表示を切り替えることができます。
 - [Reference] (参照) : カスタマイズ可能なボタンおよび別売のペンのための対話型の仮想デスクトップ オーバーレイが表示されます。
- [Undo] (元に戻す) : 最後の操作を元に戻します。
- [Redo] (やり直し) : 最後の操作をやり直します。
- [Switch Virtual Desktop Right] (仮想デスクトップを右に切り替える) : 仮想デスクトップを画面の右側に表示します。
- [Switch Virtual Desktop Left] (仮想デスクトップを左に切り替える) : 仮想デスクトップを画面の左側に表示します。
- [Snap Window Right] (ウィンドウを右にスナップ) : 選択したウィンドウを画面の右側に表示します。
- [Snap Window Left] (ウィンドウを左にスナップ) : 選択したウィンドウを画面の左側に表示します。
- [Tilt Toggle] (傾斜角度感知機能の切り替え) : ペンとタブレットの間の傾斜角度を感知する機能をオンまたはオフにします。
- [Screen Rotation Lock] (画面の回転のロック) : タブレットを回転したときに画面の表示方向を自動的に変更する機能をオンまたはオフにします。
- [Windows Key] (Windows キー) : Windows キーへのショートカットを提供します。

ペンの調整

 **注記** : [HP Create Control Panel] の初回使用時または再インストール時に、ペンが HP ZBook x2 の範囲内にあると、[Calibration] (調整) メニューが表示されます。

ペンは出荷時に調整されています。調整は、表示角度の補正や視差の調節のために必要です。手動でペンを再調整することもできます。

1. **[HP Create Control Panel]**アプリを起動します。
2. **[Device]** (デバイス) セクションで、カスタマイズするデバイスを選択します。

 **注記** : 他のデバイスを追加していない場合は、初期設定の HP ZBook x2 が選択されます。

3. **[Tool]** (ツール) セクションで、**[ZBook x2 Pen]** (HP ZBook x2 ペン) を選択します。
4. **[Application]** (アプリケーション) セクションで**[All]** (すべて) を選択し、すべてのアプリケーションの設定をカスタマイズします。

または

特定のアプリケーションを選択します。

5. **[Calibrate]** (調整) タブを選択します。
6. **[Monitor]** (モニター) の横にある下向き矢印を選択し、モニターを選択します。

 **注記** : デバイスを追加していない場合は初期設定の HP Z Book x2 ディスプレイを使用します。

7. **[Calibrate]** (調整) ボタンを選択し、画面の説明に沿って操作します。

詳細オプションの設定

[Options] (オプション) の機能を使用すると、ペンの使用設定を行えます。たとえば、ペンでサポートされるクリックの種類を設定したり、最大 1024 の圧力レベルをサポートするグラフィックスアプリケーションを使用している場合には圧力の互換性を設定したりできます。


1. **[HP Create Control Panel]**アプリを起動します。
2. **[Options]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。


アプリケーションの追加

1. **[HP Create Control Panel]**アプリを起動します。
2. **[Application]** (アプリケーション) セクションの右側にある**[+]** (+) を選択します。

[Add Application for custom Settings] (カスタム設定用アプリケーションの追加) ダイアログボックスが表示されます。

3. カスタム設定を作成するアプリケーションを選択するか、コンピューターにインストールされているアプリケーションの実行可能ファイルを参照して選択します。
4. **[OK]**を選択します。

 **注記** : Adobe Photoshop®や Illustrator®などのよく使用されるアプリケーションを使用している場合、タブレットのソフトウェアはそのアプリケーションを識別し、HP クイック キーをそのアプリケーションでよく使用される機能に設定します。そのアプリケーション用の独自の HP クイック キー設定を入力していない場合のみ、初期設定が自動的に有効になります。

 **注記** : 2つのプログラムの実行可能ファイル名が同じ場合、それらのプログラムは同じカスタマイズされた設定を共有します。

統合されたアプリケーション

一部のソフトウェアアプリケーションは HP クイック キーの設定を直接制御することがあり、そのため[HP Create Control Panel]ソフトウェアで設定した機能とは異なる動作をすることがあります。

- HP クイック キーの設定がアプリケーションによって上書きされると、HP クイック キーは、[Application Defined] (定義済みアプリケーション) または新しい機能名を使用して自動的に更新されます。アプリケーションによっては、HP クイック キーの一部またはすべてが上書きされることがあります。
- 統合されたアプリケーションが制御を行うのは、そのアプリケーションがアクティブで、最前面に表示されている場合だけです。アプリケーションを閉じたり、作業を行う新しいアプリケーションを選択したりすると、設定は前の状態に戻ります。
- 現在のアプリケーションの設定を確認するには、HP クイック キーを[Reference] (参照) に設定して、確認したいときにそのキーを押します。
- 統合されているアプリケーションでは通常、タブレットでそのアプリケーションを最初に使用するときこの機能を無効にできます。この機能をカスタマイズしたり無効にしたりする方法に関する具体的な手順については、アプリケーションの説明書を参照してください。その情報が利用できない場合は、[HP Create Control Panel]ソフトウェアを使用して、統合されたアプリケーションの動作を上書きするアプリケーション固有の設定を作成します。

[Radial Menu] (放射型メニュー) のオンスクリーンコントロール表示のカスタマイズ

ソフトウェアを使用して、オンスクリーンコントロールの階層メニュー (放射型) の表示をカスタマイズします。このメニューは HP クイック キーおよびペン オプションのオンスクリーン拡張機能で、円の 8 つの部分を使用してさまざまな機能やオプションのショートカットを表示します。

たとえば、ある HP クイック キーを[Radial Menu]に割り当てた場合、その HP クイック キーのボタンを押すといつでも[Radial Menu]が表示されます。次に、メニューの一部をタップして目的の機能を実行できます。

 **注記** : [Radial Menu]は、ソフトウェアを使用して設定したすべてのデバイスで機能します。

[Radial Menu] (放射型メニュー) を表示するオプションの割り当て

[Radial Menu]をカスタマイズする前に、メニューを表示するために、HP クイック キー ボタンまたはペン ボタンをメニューに割り当てる必要があります。

1. **[HP Create Control Panel]**アプリを起動します。
2. [Radial Menu]を表示する HP クイック キー ボタンを割り当てるには、**[Tool]** (ツール) セクションで**[Functions]** (機能) を選択します。

または


[Radial Menu]を表示するペン ボタンを割り当てるには、**[Tool]**セクションで**[ZBook x2 Pen]** (HP ZBook x2 ペン) を選択します。

3. 目的のボタン割り当てに対応するリストから**[Radial Menu]**を選択します。

[Radial Menu] (放射型メニュー) オプションのカスタマイズ

1. **[HP Create Control Panel]**アプリを起動します。
2. **[Radial Menu]**タブを選択します。

3. 目的の割り当てに対応するリストを使用して、表示される[Radial Menu]オプションをカスタマイズします。

 **注記**：[Key Assignments]（キーの割り当て）の初期設定のセットが用意されており、これをそのまま使用するか、カスタマイズ用のガイドとして使用できます。

4. 画面の説明に沿って操作します。

 **注記**：[Radial Menu]を表示したときに、**[Push Pin]**（押しピン）アイコンを選択して、メニューを開いたままにできます。

[Wrench]（レンチ）アイコンをクリックして、[Radial Menu]から[HP Create Control]メニューを開くこともできます。

デバイスの追加

タブレットに接続されている特定のデバイスについて、ツールおよびアプリケーションの設定をカスタマイズできます。**[Device]**（デバイス）リストに各デバイスのアイコンが表示されます。


新しいデバイスを追加するには、以下の操作を行います。


1. デバイスをタブレットに接続します。

[Device]リストに新しいデバイスのアイコンが表示されます。

 **注記**：デバイスのアイコンが表示されない場合、そのデバイスはサポートされていません。

2. そのアイコンをクリックして設定をカスタマイズします。

 **注記**：表示または変更できるのは、接続されているデバイスの設定のみです。

 **注記**：アプリケーションによっては、追加のデバイスを使用しているときに消しゴム機能が動作しないことがあります。


ツールの追加

ツールは、タブレットでそのツールを使用するだけで追加できます。ツールを追加できるのは、HP クリックキー、機能、およびペンの場合です。**[Tool]**（ツール）リストに各ツールのアイコンが表示されます。

- [Tool]リストに追加されているツールを選択すると、そのツールのタブ設定が表示されます。タブ設定に加えた変更はその後ツールに適用されます。
- 類似のツールが追加された場合、その新しいツールは元のツールの設定を継承します。その後、これらの設定は、新しく追加したツール用にカスタマイズできます。同一のツールでは同じ設定が使用されます。

[Tool]リストを表示するには、以下の操作を行います。

1. **[HP Create Control Panel]**アプリを起動します。
2. **[Tool]**リストに各ツールのアイコンが表示されます。


 **注記**：選択したツールを[Tool]リストから削除するには、[Tool]リストの[-]ボタンをクリックし、**[Delete]**（削除）を選択します。選択したツールがリストから削除され、カスタム設定を作成した場合はその設定も削除されます。


リストに項目が1つしかない場合、[-]ボタンはアクティブになりません。**[Functions]**（機能）アイコンは削除できません。

仮想デスクトップを使用したボタンマッピングの表示

仮想デスクトップを表示して、HP クイック キーおよびペンの現在のボタンマッピングを表示できません。

- [HP Create Control]タブで、HP クイック キーを[Reference] (参照) に設定します。 [33 ページの HP クイック キーのカスタマイズ](#)を参照してください。
- 設定を画面に表示するには、その HP クイック キーを押します。
- ペンの設定を開くには、仮想デスクトップの参照画面で**[Pen Setting]** (ペンの設定) ボタンを選択します。
- HP クイック キーの設定を開くには、HP クイック キーのマッピング表示領域をマウスでクリックするか、ペンでタップします。
- 仮想デスクトップの参照画面を閉じるには、画面をマウスでクリックするか、ペンでタップするか、または HP クイック キーをもう一度押します。

 **注記** : [HP Create Control Panel]ソフトウェアの画面が表示されないようにするには、選択するものが何もない領域をクリックまたはタップします。

 **注記** : 一部のアプリケーションでは、HP クイック キーの機能を上書きしたり制御したりできます。

設定のバックアップおよび復元

[HP Create Control Panel Preferences] (HP Create Control Panel Preferences) アプリを使用して、現在の設定をファイルに保存し、必要に応じてその設定を復元することができます。このユーティリティを使用して、自分の設定やすべてのユーザーの設定を削除することもできます。

設定をバックアップするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**ボタンを選択し、**[HP Create Control Panel Preferences]**アプリを選択します。
2. **[バックアップ]**を選択します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

設定を復元するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**ボタンを選択し、**[HP Create Control Panel Preferences]**アプリを選択します。
2. **[復元]**を選択します。
3. 画面の説明に沿って操作します。


高度な設定のインポート

高度な設定のインポート機能では、XML (Extensible Markup Language) ファイルで指定されているカスタマイズされた設定をインポートできます。一部のソフトウェア開発者は、タブレットでアプリケーションを使用するときに最適なパフォーマンスを実現するように設計されたカスタム設定ファイルを作成します。

各 XML ファイルには、1 つまたは複数のアプリケーション用にカスタマイズされた設定が含まれています。これらの設定は、HP クイック キー、オンスクリーン コントロール、ペンのボタンまたは消しゴム、およびその他の機能に適用されることがあります。

高度な設定をインポートするには、以下の操作を行います。

1. 既存の設定をバックアップします。[41 ページの設定のバックアップおよび復元](#)を参照してください。
2. 特定のアプリケーションで使用するための設定を含む XML ファイルを選択します。選択したファイルをダブルクリックします。
3. 画面の説明に沿って操作します。

 **注記**：設定のインポートを選択すると、XML ファイルで指定した設定だけがインポートされます。対応する設定は、新しい値で上書きされます。その他の既存の設定はどれも変更されません。

[HP Create Control Panel]ソフトウェアの更新

ソフトウェアは定期的に更新することをおすすめします。更新によって、新しい機能が使用できるようになったり、問題が解決されたりします。HP の Web サイトで、ソフトウェアの更新されたバージョンを確認してください。

HP の Web サイトでは、更新プログラムが「SoftPaq」という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロードパッケージには、そのパッケージのインストールやトラブルの解決方法に関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。


ソフトウェアのバージョンの確認

ソフトウェアを更新する必要があるかどうかを判断するには、まずコンピューターのソフトウェアのバージョンを確認します。

1. **[HP Create Control Panel]**アプリを起動します。
2. **[About]**（バージョン情報）を選択します。
3. ドライバーのバージョンを書き留めてから、**[OK]**を選択します。


[HP Create Control Panel]ソフトウェアのより新しいバージョンがあるかどうかを確認するには、[42 ページのソフトウェア更新プログラムのダウンロード](#)を参照してください。

ソフトウェア更新プログラムのダウンロード

 **注意**：コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、ソフトウェア更新プログラムのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用して信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリー電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスに接続されているとき、または別売の電源装置に接続されているときは、ソフトウェア更新プログラムをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。


- 電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜かないでください。外部からの電源供給を遮断しないでください。
- コンピューターをシャットダウンしたり、スリープや休止状態を開始したりしないでください。
- ケーブルやコード類の抜き差しおよびデバイスの着脱は行わないでください。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。
2. 画面の説明に沿って操作します。
3. ダウンロードエリアで、以下の操作を行います。
 - a. 最新の[HP Create Control Panel]ソフトウェア更新プログラムを確認し、お使いのコンピューターに現在インストールされている[HP Create Control Panel]ソフトウェアのバージョンと比較します。バージョン番号を書き留めます。後で、ハードドライブにダウンロードした更新プログラムを探すときにこの情報が必要になる場合があります。
 - b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。
[HP Create Control Panel]ソフトウェアの更新プログラムをダウンロードする場所へのパスのメモを取っておきます。このパスは、更新プログラムをインストールするときに必要です。

 **注記：** コンピューターが職場や学校などで管理されているネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア更新プログラムのインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

[HP Create Control Panel]ソフトウェアのインストール手順は場合によって異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「エクスプローラー」と入力して[エクスプローラー]を選択します。
2. ハードドライブを選択します。通常は、[ローカルディスク (C:)]を指定します。
3. ソフトウェアをダウンロードしたときのメモを参照するなどして、更新プログラムが保存されているフォルダーを開きます。
4. 更新ファイル（filename.exe など）をダブルクリックします。
[HP Create Control Panel]ソフトウェアのインストールが開始されます。
5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

 **注記：** インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

トラブルシューティング

ソフトウェア、ボタン、またはペンで問題が発生した場合は、診断ツールを使用します。

1. [HP Create Control Panel]ソフトウェアを起動します。
2. **[About]**（バージョン情報）を選択します。
3. **[Diagnose]**（診断）を選択し、画面の説明に沿って操作します。

6 エンターテインメント機能

HP コンピューターを仕事や遊びに使用して、Web カメラ経由で他のユーザーと話をしたり、オーディオとビデオを組み合わせたり、プロジェクター、モニター、テレビ、およびスピーカーなどの外付けデバイスを接続したりできます。お使いのコンピューターのオーディオ、ビデオ、およびカメラ機能を確認するには、[3 ページの「各部の名称と機能概要」](#)を参照してください。

カメラの使用（一部の製品のみ）

お使いのコンピューターには、動画を録画したり、写真を撮影したりするカメラ（内蔵カメラ）があります。一部のモデルでは、動画のストリーミングによるビデオ会議やオンラインチャットができます。

- ▲ カメラにアクセスするには、タスクバーの検索ボックスで「カメラ」と入力して、アプリケーションの一覧から**[カメラ]**を選択します。

オーディオの使用

音楽のダウンロードや再生、Web 上のオーディオコンテンツ（ラジオなど）のストリーミング、オーディオの録音、オーディオとビデオの組み合わせによるマルチメディアの作成などが可能です。コンピューターで音楽 CD を再生したり（一部のモデル）、外付けオプティカルドライブを接続して CD を再生したりできます。オーディオを聴く楽しみを広げるには、ヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。

スピーカーの接続

有線のスピーカーをコンピューターに接続する場合は、コンピューターまたはドッキングステーションの USB ポートまたはオーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボ コネクタに接続します。

無線スピーカーをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。HD 対応スピーカーをコンピューターに接続するには、[48 ページの HDMI オーディオの設定](#)を参照します。スピーカーを接続する前に、音量設定を下げます。

ヘッドフォンの接続

- ⚠ 警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量設定を下げてからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

このガイドを表示するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して**[HP Support Assistant]**アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。
2. **[自分の PC]**→**[仕様]**タブ→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します。

有線のヘッドフォンは、コンピューターの USB ポートまたはオーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボコネクタに接続できます。

無線のヘッドフォンをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

ヘッドセットの接続

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量設定を下げてからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

このガイドを表示するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。
2. [自分の PC]→[仕様]タブ→[ユーザー ガイド]の順に選択します。

マイク付きのヘッドフォンはヘッドセットと呼ばれます。有線のヘッドセットは、コンピューターのオーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボコネクタまたは USB ポートに接続できます。

無線ヘッドセットをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

サウンド設定の使用

サウンド設定を使用して、システム音量の調整、システムサウンドの変更、またはオーディオデバイスの管理を行います。

サウンド設定を表示または変更するには、以下の操作を行います。

- ▲ タスクバーの検索ボックスに「コントロール」と入力して、[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]の順に選択します。
または
[スタート]ボタンを右クリックし、[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]の順に選択します。

お使いのコンピューターには、Bang & Olufsen、DTS、Beat Audio 等による高度なサウンドシステムが含まれている場合があります。そのため、お使いのコンピューターには、お使いのオーディオシステムに固有のオーディオコントロールパネルで制御できる高度なオーディオ機能が搭載されている場合があります。


オーディオコントロールパネルを使用して、オーディオの設定を表示および調整します。

- ▲ タスクバーの検索ボックスに「コントロール」と入力して、[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]の順に選択し、お使いのシステムに固有のオーディオコントロールパネルを選択します。
または
[スタート]ボタンを右クリックして、[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]の順に選択し、お使いのシステムに固有のオーディオコントロールパネルを選択します。

動画の視聴


お使いのコンピューターはパワフルなビデオ デバイスであり、お気に入りの Web サイトの動画のストリーミングを視聴したり、動画や映画をダウンロードしてネットワークに接続していないときにコンピューター上で視聴したりできます。

コンピューターのビデオ コネクタのどれかに外付けモニター、プロジェクター、またはテレビを接続することで、視聴の楽しみが広がります。

 **重要**：外付けデバイスが、正しいケーブルを使用してコンピューター上の正しいコネクタに接続されていることを確認してください。デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

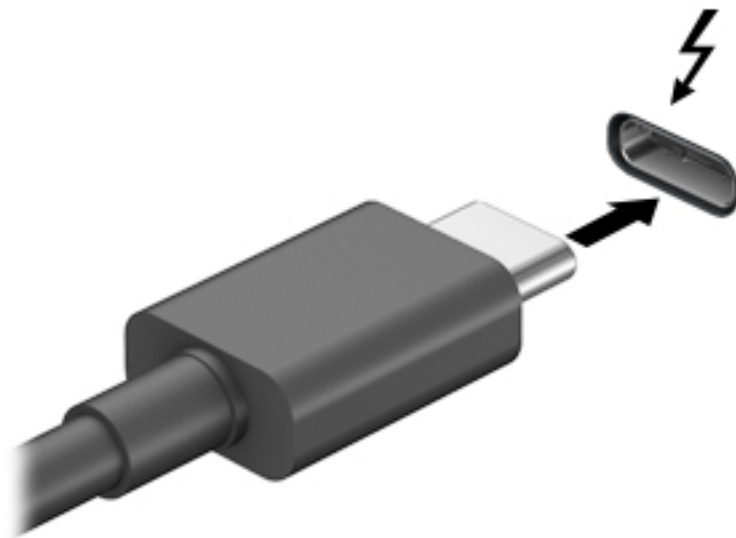
ビデオ機能の使用について詳しくは、[HP Support Assistant]を参照してください。

USB Type-C ケーブルを使用したビデオ デバイスの接続（一部の製品のみ）

 **注記**：USB Type-C Thunderbolt デバイスをコンピューターに接続するには、別売の USB Type-C ケーブルが必要です。


外付けの Thunderbolt デバイスの画面にビデオまたは高解像度の出力を表示するには、以下の操作を行って Thunderbolt デバイスを接続します。

1. USB Type-C ケーブルの一方の端をコンピューターの USB Type-C Thunderbolt ポートに接続します。




2. ケーブルのもう一方の端を外付けの Thunderbolt デバイ스에接続します。
3. **fn + f4** キーを押すと、コンピューターの表示画面が以下の 4 つの表示状態の間で切り替わります。
 - **PC 画面のみ**：コンピューター本体の画面にのみ表示します。
 - **複製**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方の画面に同時に表示します。
 - **拡張**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
 - **セカンドスクリーンのみ**：外付けデバイスの画面にのみ表示します。

fn + f4 キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。

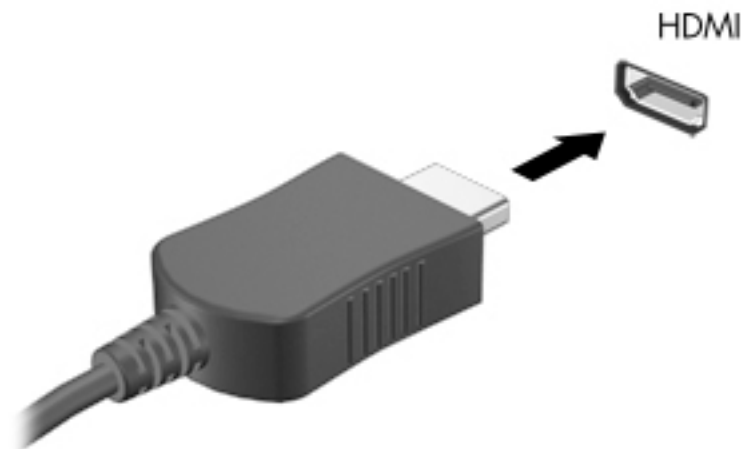
 **注記**：最適な状態で使用するには、以下の操作を行って外付けデバイスの解像度を上げてください(特に[拡張]オプションを選択した場合)。**[スタート]ボタン**→**[設定]**→**[システム]**の順に選択します。**[ディスプレイ]**で、適切な解像度を選択して、**[変更の維持]**を選択します。


HDMI ケーブルを使用したビデオ デバイスの接続 (一部の製品のみ)

 **注記**：HDMI デバイスをコンピューターに接続するには、別売の HDMI ケーブルが必要です。

HD 対応のテレビまたはモニターでコンピューターの表示画面を見るには、以下の手順に従って HD 対応のデバイスを接続します。


1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI 出力端子に接続します。



 **注記**：HDMI 端子の形状は、モデルによって異なります。

2. ケーブルのもう一方の端を HD 対応のテレビまたはモニターに接続します。
3. fn + f4 キーを押すと、コンピューターの表示画面が以下の 4 つの表示状態の間で切り替わります。
 - **PC 画面のみ**：コンピューター本体の画面にのみ表示します。
 - **複製**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方の画面に同時に表示します。
 - **拡張**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
 - **セカンドスクリーンのみ**：外付けデバイスの画面にのみ表示します。

fn + f4 キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。

 **注記**：最適な状態で使用するには、以下の操作を行って外付けデバイスの解像度を上げてください(特に[拡張]オプションを選択した場合)。**[スタート]ボタン**→**[設定]**→**[システム]**の順に選択します。**[ディスプレイ]**で、適切な解像度を選択して、**[変更の維持]**を選択します。

HDMI オーディオの設定


HDMI は、HD 対応のビデオおよびオーディオをサポートするビデオインターフェイスです。HDMI 対応のテレビをコンピューターに接続した後、以下の操作を行って HDMI オーディオをオンにできます。

1. タスクバーの右端の通知領域にある**【スピーカー】**アイコンを右クリックし、**【再生デバイス】**を選択します。
2. **【再生】**タブで、接続したテレビに該当するデバイスの名前を選択します。
3. **【既定値に設定】**→**【OK】**の順にクリックします。

オーディオの再生をコンピューターのスピーカーに戻すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある**【スピーカー】**アイコンを右クリックし、**【再生デバイス】**をクリックします。
2. **【再生】**タブで、**【スピーカー/ヘッドフォン】**をクリックします。
3. **【既定値に設定】**→**【OK】**の順にクリックします。

Miracast 対応無線ディスプレイの検出および接続（一部の製品のみ）

 **注記：**お使いのディスプレイの種類（Miracast 対応またはインテル WiDi）を確認するには、テレビまたはセカンダリ ディスプレイに付属の説明書を参照してください。

使用中のアプリを終了することなく Miracast 対応無線ディスプレイを検出および接続するには、以下の操作を行います。

以下の操作を行って、Miracast を利用できるようにします。

- ▲ タスクバーの検索ボックスに「セカンド スクリーン」と入力し、**【セカンドスクリーンに表示する】**をクリックします。**【ワイヤレスディスプレイに接続する】**をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

7 電源の管理

お使いのコンピューターは、バッテリー電源または外部電源で動作します。コンピューターがバッテリー電源で動作しており、外部電源を使用してバッテリーを充電することができない場合は、バッテリー残量を監視し、節約することが重要です。

この章で説明されている一部の電源管理機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

スリープおよび休止状態の使用

△ 注意：コンピューターがスリープ状態のときに問題が発生する可能性がある既知の脆弱性があります。お使いのコンピューターのデータへの不正アクセスを防ぐため、データが暗号化されていたとしても、コンピューターから物理的に離れる場合は、スリープではなく必ず休止状態にすることをおすすめします。特に、コンピューターを持ち運ぶ場合にこの操作は重要です。

注意：オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディアカードの読み取りまたは書き込み中にスリープを開始しないでください。

Windows には、スリープと休止状態の 2 つの省電力設定があります。

- **スリープ：**操作しない状態が一定時間続いた場合に、スリープ状態が自動的に開始されます。作業中のデータがメモリに保存されるため、非常にすばやく作業を再開できます。手動でスリープを開始することもできます。詳しくは、[49 ページのスリープの開始および終了](#)を参照してください。
- **休止状態：**バッテリーが完全なローバッテリー状態になると、休止状態が自動的に開始されます。休止状態では、データが休止状態 ファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。手動で休止状態を開始することもできます。詳しくは、[50 ページの休止状態の開始および終了（一部の製品のみ）](#)を参照してください。

スリープの開始および終了

スリープ状態を開始するには、以下のどれかの操作を行います。

- ディスプレイを閉じます（一部の製品のみ）。
- **[スタート]ボタン→[電源]アイコン→[スリープ]**の順に選択します。
- スリープのホットキー（例：**fn + f1**）を押します。

スリープ状態を終了するには、以下のどれかの操作を行います。


- 電源ボタンを短く押します。
- ディスプレイが閉じている場合は、ディスプレイを持ち上げて開きます。（一部の製品のみ）。
- キーボードのキーを押します（一部の製品のみ）。
- タッチパッドをタップします（一部の製品のみ）。


コンピューターがスリープを終了すると、作業していた画面に戻ります。

🔒 注記：スリープを終了するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。


休止状態の開始および終了（一部の製品のみ）

[電源オプション]を使用すると、ユーザーが開始する休止状態を有効にしたり、その他の電源設定およびタイムアウトを変更したりできます。

1. [電源]アイコン  を右クリックして[電源オプション]を選択します。
2. 左側の枠内で、[電源ボタンの動作を選択する]（製品によって表記が異なる場合があります）を選択します。
3. お使いの製品によって、以下のどれかの方法でバッテリー電源または外部電源の休止状態を有効にできます。
 - 電源ボタン：[電源とスリープ ボタンおよびカバーの設定]（製品によって表記が異なる場合があります）で[電源ボタンを押したときの動作]を選択し、[休止状態]を選択します。
 - スリープ ボタン（一部の製品のみ）：[電源とスリープ ボタンおよびカバーの設定]（製品によって表記が異なる場合があります）で[スリープ ボタンを押したときの動作]を選択し、[休止状態]を選択します。
 - カバー（一部の製品のみ）：[電源とスリープ ボタンおよびカバーの設定]（製品によって表記が異なる場合があります）で[カバーを閉じたときの動作]を選択し、[休止状態]を選択します。
 - [電源]メニュー：[現在利用可能ではない設定を変更します]を選択してから、[シャットダウン設定]で[休止状態]のチェック ボックスにチェックを入れます。
[電源]メニューには[スタート]ボタンを選択するとアクセスできます。
4. [変更の保存]を選択します。
 - ▲ 休止状態を開始するには、手順3で有効にした方法を使用します。
 - ▲ 休止状態を終了するには、電源ボタンを短く押します。

 **注記：** 休止状態を終了するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。


コンピューターのシャットダウン

 **注意：** コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。必ず作業中のデータを保存してからコンピューターをシャットダウンしてください。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティングシステムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

長期間コンピューターを使用せず、外部電源に接続しない場合は、コンピューターをシャットダウンしてください。

Windows の[シャットダウン]コマンドの使用をおすすめします。


 **注記：** コンピューターがスリープまたは休止状態の場合は、まず電源ボタンを短く押してスリープまたは休止状態を終了してください。



1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. [スタート]ボタン→[電源]アイコン→[シャットダウン]の順に選択します。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急手順を記載されている順に試みてください。

- **ctrl + alt + delete** キーを押してから、**[電源]アイコン**→**[シャットダウン]**の順に選択します。
- 電源ボタンを 10 秒程度押したままにします。
- ユーザーによる交換が可能なバッテリー（一部の製品のみ）を搭載したコンピューターの場合は、コンピューターを外部電源から切断してから、バッテリーを取り外します。

[電源]アイコンおよび電源オプションの使用

[電源]アイコン  は、Windows タスクバーにあります。[電源]アイコンを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリー充電残量を表示したりできます。

- 充電残量率を表示するには、**[電源]アイコン**  にマウスカーソルを合わせます。
- **[電源オプション]**を使用するには、**[電源]アイコン**  を右クリックして**[電源オプション]**を選択します。

コンピューターがバッテリー電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[電源]アイコンの形の違いで判断できます。このアイコンの上にマウスポインターを置くと、バッテリーがローバッテリー状態または完全なローバッテリー状態になった場合にそのメッセージが表示されます。

バッテリー電源での駆動

⚠ 警告！ けがや事故、および機器の故障などの安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリー、HP が提供する交換用バッテリー、または HP から購入した対応するバッテリーを使用してください。

充電済みのバッテリーが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリー電源で動作します。コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリーは徐々に放電していきます。コンピューターには、バッテリーがローバッテリー状態または完全なローバッテリー状態になった場合にそのメッセージが表示されます。

バッテリーは消耗品です。バッテリー電源での駆動時間およびバッテリーの寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

📝 注記： 外部電源の接続を外すと、バッテリー充電残量を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。一部の製品のコンピューターでは、グラフィックスモードを切り替えてバッテリー充電残量を節約できます。


HP ファストチャージの使用（一部の製品のみ）

HP ファストチャージ機能によって、お使いのコンピューターのバッテリーをすばやく充電できます。充電時間は±10%の範囲で異なる場合があります。お使いのコンピューターのモデルおよび付属している HP の AC アダプターに応じて、HP ファストチャージは以下のどちらかの方法で動作します。

- バッテリー充電残量が 0～50%の場合、バッテリーは 30 分以内に全容量の 50%まで充電されます。
- バッテリー充電残量が 0～90%の場合、バッテリーは 90 分以内に全容量の 90%まで充電されます。

HP ファストチャージを使用するには、お使いのコンピューターをシャットダウンしてから、AC アダプターをコンピューターおよび外部電源に接続します。

バッテリー充電残量の表示

充電残量率を表示するには、**[電源]アイコン**  にマウスカーソルを合わせます。

[HP Support Assistant]（一部の製品のみ）でのバッテリー情報の確認

バッテリー情報にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して**[HP Support Assistant]**アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコンを選択します。
2. **[自分の PC]→[診断とツール]タブ→[HP バッテリー チェック]**の順に選択します。[HP バッテリー チェック]にバッテリーを交換する必要があると表示されている場合は、使用を中止し、バッテリーの交換について HP のサポート窓口にお問い合わせください。

[HP Support Assistant]では、バッテリーに関する以下のツールおよび情報が提供されます。

- HP バッテリー チェック
- バッテリーの種類、仕様、ライフサイクル、および容量に関する情報

バッテリーの節電

バッテリー充電残量を節約およびバッテリーでの駆動時間を最大化するには、以下の操作を行います。


- ディスプレイの輝度を下げます。
- [電源オプション]で**[省電力]**設定を選択します。
- 使用していない無線デバイスをオフにします。
- USB ポートに接続している外付けハードドライブなど、外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディアカードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- しばらく作業を行わないときは、スリープを開始するか、コンピューターの電源を切ります。

ローバッテリー状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにバッテリーがローバッテリー状態または完全なローバッテリー状態になった場合は、以下ようになります。

- バッテリーランプ（一部の製品のみ）が、ローバッテリー状態または完全なローバッテリー状態になっていることを示します。

または

- [電源]アイコン  が、ローバッテリー状態または完全なローバッテリー状態になっていることを通知します。

 **注記：** [電源]アイコンについて詳しくは、[51 ページの\[電源\]アイコンおよび電源オプションの使用](#)を参照してください。

完全なローバッテリーの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- 休止状態が無効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、短い時間スリープ状態に移行または維持した後、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。
- 休止状態が有効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、休止状態が開始します。

ローバッテリー状態の解決

外部電源を使用できる場合のローバッテリー状態への対処方法

以下のどれかをコンピューターおよび外部電源に接続します。

- AC アダプター
- 別売のドッキング デバイスまたは拡張製品
- HP からオプション製品として購入した電源アダプター

外部電源を使用できない場合のローバッテリー状態への対処方法

作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

休止状態を終了できない場合のローバッテリー状態への対処方法

1. AC アダプターをコンピューターおよび外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを押して、休止状態を終了します。

出荷時に搭載されているバッテリー

バッテリーの状態を確認する場合、またはバッテリーが充電されなくなった場合は、[HP Support Assistant] アプリで[HP バッテリー チェック]を実行してください（一部の製品のみ）。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。

または

タスクバーにある疑問符のアイコンを選択します。

2. **[自分の PC]→[診断とツール]タブ→[HP バッテリー チェック]**の順に選択します。[HP バッテリー チェック]にバッテリーを交換する必要があると表示されている場合は、使用を中止し、バッテリーの交換について HP のサポート窓口にお問い合わせください。

この製品のバッテリーは、ユーザー自身で簡単に交換することはできません。バッテリーを取り外したり交換したりすると、保証が適用されない場合があります。バッテリーが充電されなくなった場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

バッテリーは消耗品です。バッテリーが寿命に達した場合、そのバッテリーを一般の家庭ごみと一緒に処分しないでください。コンピューターの使用済みのバッテリーは、お住まいの地域の地方自治体の条例または規則に従って、正しく処分してください。

外部電源での駆動

外部電源の接続について詳しくは、コンピューターに付属の印刷物の『セットアップ手順』ポスターを参照してください。

純正の AC アダプター、または別売のドッキング デバイスや拡張製品を使用してコンピューターが外部電源に接続されている場合、コンピューターはバッテリー電源を使用しません。


⚠ 警告！ 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターだけを使用してください。

⚠ 警告！ 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。


以下のどれかの条件にあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

- バッテリーを充電するか、バッテリー ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは更新する場合
- システム BIOS を更新する場合
- ディスクに情報を書き込む場合（一部の製品のみ）
- 内蔵ハードドライブが搭載されているコンピューターで[ディスク デフラグ]を実行する場合
- バックアップまたは復元を実行する場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリーの充電が開始されます。
- 画面の輝度が上がります。
- [電源]アイコン  の形状が変わります。


外部電源を取り外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリーに切り替わります。
- バッテリー充電残量を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。
- [電源]アイコン  の形状が変わります。


キーボードドックの電源管理

外部電源に接続されていない場合、キーボードドックはバッテリー電源で動作します。バッテリーでの駆動時間は、使用状況や、バックライトを使用するかどうかによって異なります。キーボードでは、スリープ状態もサポートされます。

バッテリー充電残量の表示

キーボードバッテリーアイコン  は、Windows タスクバーにあります。このアイコンを使用すると、すばやくバッテリー充電残量を表示できます。

バッテリー充電残量を表示するには、**[Keyboard battery]** (キーボードのバッテリー) アイコン  を選択します。

 **注記** : バッテリーの状態に関する情報は、キーボード ボタンのランプからも得られます。[13 ページのキーボードのコネクタ、ボタン、およびステータスランプ](#)を参照してください。

キーボードのローバッテリー状態の解決





キーボードを充電するには、以下のどちらかのオプションを使用します。

- キーボードをタブレットに接続します。[17 ページのキーボードドックへのタブレットの接続](#)を参照してください。
- キーボードの USB ポートおよび USB アダプター (別売) を使用して、キーボードを外部電源に接続します。キーボードの USB ポートの位置については、[16 ページの USB ポートおよびスマートカードリーダー/ペンホルダー スロット \(一部の製品のみ\)](#) を参照してください。

8 セキュリティ

コンピューターの保護

Windows オペレーティング システムおよび Windows の[Computer Setup]ユーティリティ（BIOS。どのオペレーティング システムでも実行されます）によって提供される標準のセキュリティ機能により、個人設定およびデータをさまざまなリスクから保護できます。

-  **注記：**セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。
-  **注記：**コンピューターを修理などのためにサポート宛てに送付する場合は、機密性の高いファイルのバックアップと削除、およびすべてのパスワード設定の削除を事前に行ってください。
-  **注記：**この章に記載されている一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。
-  **注記：**お使いのコンピューターでは、オンラインセキュリティ ベースの追跡および復元サービスである [Computrace] がサポートされています（一部の地域のみ）。コンピューターが盗難に遭ったりコンピューターを紛失したりしたときに、不正なユーザーがそのコンピューターからインターネットにアクセスすると、[Computrace] による追跡が行われます。[Computrace] を使用するには、ソフトウェアを購入し、サービス登録を行う必要があります。[Computrace] ソフトウェアの購入については、<http://www.hp.com/jp/> を参照してください。

コンピューターでの危険性	セキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	<ul style="list-style-type: none">• パスワード、スマート カード、非接触型カード、登録した指紋、またはその他の認証資格情報と、[HP Client Security] ソフトウェアの組み合わせ• BIOS power-on password（BIOS 電源投入時パスワード）
[Computer Setup]（BIOS）への不正アクセス	[Computer Setup] の BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）*
別売の外付けオプティカルドライブ（一部の製品のみ）、別売の外付けハードドライブ（一部の製品のみ）、または内蔵ネットワークアダプターからの不正な起動	[Computer Setup] の [Boot options]（ブートオプション）機能*
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	Windows ユーザー パスワード
データへの不正なアクセス	Windows BitLocker
コンピューターの不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット（別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用）（一部の製品のみ）

* [Computer Setup] は、ROM ベースの内蔵ユーティリティです。オペレーティング システムが動かなかったり読み込まれなかったりする場合でも使用できます。[Computer Setup] で項目間を移動したり項目を選択したりするには、ポインティング デバイス（タッチパッド、ポイント スティック、または USB マウス）またはキーボードを使用します。

注記：キーボードが取り付けられていないタブレットでは、タッチスクリーンを使用できます。

注記: キーボードが取り外され、キックスタンドが開いているコンピューターにログインする場合は、**[Ease of access]** (簡単操作) アイコン→**[On-Screen Keyboard]** (スクリーンキーボード) の順に選択して、スクリーンキーボードを表示する必要があります。

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を保護するために選択する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じてさまざまな種類のパスワードを選択できます。パスワードは、Windows およびコンピューターにプリインストールされている[Computer Setup]で設定できます。

- BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) および Power-on password (電源投入時パスワード) は[Computer Setup]で設定され、システム BIOS によって管理されます。
- Windows パスワードは、Windows オペレーティングシステムでのみ設定されます。

[Computer Setup]の機能と Windows のセキュリティ機能には、同じパスワードを使用できます。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従ってください。
- 同じパスワードを複数のアプリケーションや Web サイトに使用しないでください。また、Windows パスワードを他のアプリケーションや Web サイトに再利用しないでください。
- [HP Client Security]の[Password Manager]機能を使用すると、Web サイトやアプリケーションに対するユーザー名およびパスワードを保存しておけます。それらのユーザー名やパスワードを思い出せなくなった場合に、安全に読み出すことができます。
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しないでください。

以下の表で、一般に使用される Windows パスワードおよび BIOS administrator password を示し、それぞれの機能について説明します。

Windows でのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード*	Windows の管理者レベルのアカウントへのアクセスを保護します 注記: Windows の管理者パスワードを設定しても、BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) は設定されません
ユーザー パスワード*	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護します

* Windows の管理者パスワードまたは Windows のユーザー パスワードの設定については、タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して**[HP Support Assistant]**アプリを選択します。

[Computer Setup]でのパスワードの設定

パスワード	機能
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) *	[Computer Setup]へのアクセスを保護します 注記: BIOS administrator password の削除を防ぐ機能が有効になっている場合、その機能が無効にされるまでは削除できないことがあります
Power-on password (電源投入時パスワード)	<ul style="list-style-type: none">設定した場合、コンピューターの電源投入時または再起動時には必ずこのパスワードを入力する必要があります設定した Power-on password を忘れると、コンピューターの電源を入れることも、再起動もできなくなります

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の管理

パスワードを設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

新しい BIOS administrator password の設定

- [Computer Setup]を開始します。
 - ▲ タブレットの電源を切ります。電源ボタンを押してすぐに音量下げボタンを押したままにし、スタートアップメニューが表示されたら**[f10]**を選択して[Computer Setup]を起動します。
- [Security]** (セキュリティ) → **[Create BIOS Administrator Password]** (BIOS 管理者パスワードの作成) または **[Set Up BIOS Administrator Password]** (BIOS 管理者パスワードの設定) (一部の製品のみ) の順に選択し、**enter** キーを押します。
- メッセージが表示されたら、パスワードを入力します。
- メッセージが表示されたら、確認のために新しいパスワードを再度入力します。
- 変更を保存してから[Computer Setup]を終了するには、**[Save]** (保存) アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

[Main] (メイン) → **[Save Changes and Exit]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**[enter]** キーを押します。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password の変更

- [Computer Setup]を開始します。
 - ▲ タブレットの電源を切ります。電源ボタンを押してすぐに音量下げボタンを押したままにし、スタートアップメニューが表示されたら**[f10]**を選択して[Computer Setup]を起動します。
- 現在の BIOS administrator password を入力します。
- [Security]** (セキュリティ) → **[Change BIOS administrator password]** (BIOS 管理者パスワードの変更) または **[Change Password]** (パスワードの変更) (一部の製品のみ) の順に選択し、**[enter]** キーを押します。
- メッセージが表示されたら、現在のパスワードを入力します。

5. メッセージが表示されたら、新しいパスワードを入力します。
6. メッセージが表示されたら、確認のために新しいパスワードを再度入力します。
7. 変更を保存してから[Computer Setup]を終了するには、**[Save]**（保存）アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

[Main]→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**[enter]**キーを押します。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password の削除

1. [Computer Setup]を開始します。
 - ▲ タブレットの電源を切ります。電源ボタンを押してすぐに音量下げボタンを押したままにし、スタートアップメニューが表示されたら**[f10]**を選択して[Computer Setup]を起動します。
2. 現在の BIOS administrator password を入力します。
3. **[Security]**（セキュリティ）→**[Change BIOS administrator password]**（BIOS 管理者パスワードの変更）または**[Change Password]**（パスワードの変更）（一部の製品のみ）の順に選択し、**[enter]**キーを押します。
4. メッセージが表示されたら、現在のパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを入力するように要求されたら、フィールドを空欄のままにして**[enter]**キーを押します。
6. 再度、新しいパスワードを入力するように要求されたら、フィールドを空欄のままにして、**[enter]**キーを押します。
7. 変更を保存してから[Computer Setup]を終了するには、**[Save]**（保存）アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

[Main]→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**[enter]**キーを押します。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）の入力


[BIOS administrator password]（BIOS 管理者パスワード）の入力画面でパスワードを設定したときと同じキーを使用して自分のパスワードを入力し、**[enter]**キーを押します。2 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動して入力しなおす必要があります。

[Windows Hello]の使用（一部の製品のみ）

指紋認証システムや赤外線カメラを搭載している製品では、指を滑らせるかカメラを見ることで[Windows Hello]を使用してサインインできます。

[Windows Hello]を設定するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**ボタン→**[設定]**→**[アカウント]**→**[サインイン オプション]**の順に選択します。
2. **[Windows Hello]**で画面の説明に沿って操作し、パスワードおよび PIN の両方を追加してから、指紋または顔の ID を登録します。

 **注記**：PIN の長さに制限はありませんが、数字のみで構成する必要があります。英字および特殊文字は使用できません。

ウイルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューターウイルスの危険にさらされる可能性があります。コンピューターウイルスに感染すると、オペレーティングシステム、プログラム、およびユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウイルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウイルスを検出および駆除することができ、通常はウイルスの被害にあった箇所を修復できます。新しく発見されたウイルスからコンピューターを保護するには、ウイルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

お使いのコンピューターには[Windows Defender]がプリインストールされています。ウイルス対策プログラムを引き続き使用して、お使いのコンピューターを確実に保護することを強くおすすめします。

コンピューターウイルスについて詳しくは、[HP Support Assistant]を参照してください。

ファイアウォールソフトウェアの使用


ファイアウォールは、システムやネットワークへの不正なアクセスを防ぐように設計されています。ファイアウォールには、コンピューターやネットワークにインストールするソフトウェアプログラムもあれば、ハードウェアとソフトウェアの両方から構成されるソリューションもあります。

検討すべきファイアウォールは、次の2種類です。

- ホストベースのファイアウォール：インストールされているコンピューターだけを保護するソフトウェアです。
- ネットワークベースのファイアウォール：DSL モデムまたはケーブルモデムとホームネットワークの間に設置して、ネットワーク上のすべてのコンピューターを保護します。


ファイアウォールをシステムにインストールすると、そのシステムとの間で送受信されるすべてのデータが監視され、ユーザーの定義したセキュリティ基準と比較されます。セキュリティ基準を満たしていないデータはすべてブロックされます。

お使いのコンピューターまたはネットワーク機器には、ファイアウォールがすでにインストールされている場合があります。インストールされていない場合は、ファイアウォールソフトウェアソリューションを使用できます。

 **注記**：特定の状況下では、ファイアウォールがインターネットゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

ソフトウェア更新プログラムのインストール

お使いのコンピューターにインストールされている HP、Windows、および他社製ソフトウェアは、セキュリティの問題を修正するため、およびソフトウェア パフォーマンスを向上させるために、定期的に更新する必要があります。

 **重要**：Microsoft®社は、セキュリティ更新プログラムなどの Windows の更新プログラムに関する通知を配信しています。お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのすべてのオンライン更新プログラムをインストールしてください。

これらの更新プログラムは自動でインストールできます。

設定を表示または変更するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**ボタン→**[設定]**→**[更新とセキュリティ]**の順に選択します。
2. **[Windows Update]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。
3. 更新プログラムをインストールするスケジュールを設定するには、**[詳細オプション]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Client Security]の使用（一部の製品のみ）

[HP Client Security]ソフトウェアは、お使いのコンピューターにプリインストールされています。このソフトウェアにアクセスするには、タスクバーの右端の通知領域にある[HP Client Security]アイコン、または Windows の[コントロールパネル]を使用します。このソフトウェアが提供するセキュリティ機能は、コンピューター本体、ネットワーク、および重要なデータを不正なアクセスから保護するために役立ちます。詳しくは、[HP Client Security]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP Touchpoint Manager]の使用（一部の製品のみ）

[HP Touchpoint Manager]は、企業が自社の資産を効果的に管理および保護するための、クラウドベースの IT ソリューションです。[HP Touchpoint Manager]によって、マルウェアなどの攻撃からデバイスがさらに保護され、デバイス状態を監視し、エンドユーザー デバイスおよびセキュリティの問題をお客様が解決するための時間を短縮できるようになります。お客様はソフトウェアをすばやくダウンロードしてインストールでき、従来のソリューションに比べて優れた対費用効果が得られます。詳しくは、<http://www.hptouchpointmanager.com/> を参照してください。

別売のセキュリティ ロック ケーブルの使用（一部の製品のみ）

セキュリティ ロック ケーブル（別売）に抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。セキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

指紋認証システムの使用（一部の製品のみ）

一部の製品では、内蔵の指紋認証システムを使用できます。指紋認証システムを使用するには、[HP Client Security]の[Credential Manager]で指紋を登録する必要があります。[HP Client Security]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[Credential Manager]で指紋を登録すると、[HP Client Security]の>Password Manager]を使用して、対応している Web サイトやアプリケーションでユーザー名およびパスワードを保存および入力できます。

指紋認証システムの位置

指紋認証システムは小さい金属製センサーで、コンピューターの以下のどこかの場所にあります。

- タッチパッドの下部付近
- キーボードの右側
- ディスプレイの右上
- ディスプレイの左側
- ディスプレイの背面

製品によって、指紋認証システムは横向きの場合も縦向きの場合もあります。

9 メンテナンス

コンピューターを最適な状態に保つには、定期的なメンテナンスを行うことが非常に重要です。この章では、[ディスク デフラグ]や[ディスク クリーンアップ]などのツールを使用する方法について説明します。また、プログラムおよびドライバーの更新方法、コンピューターの清掃手順、およびコンピューターの持ち運び（または送付）に関する情報も提供します。

パフォーマンスの向上

[ディスク デフラグ]や[ディスク クリーンアップ]などのツールを使用して定期的なメンテナンス作業を実行することにより、コンピューターのパフォーマンスを向上させることができます。

[ディスク デフラグ]の使用

少なくとも1か月に1度、[ディスク デフラグ]を使用してハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。

 **注記** : SSD (Solid State Drive) では、[ディスク デフラグ]を実行する必要はありません。

[ディスク デフラグ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続します。
2. タスクバーの検索ボックスで、「デフラグ」または「defragment」と入力して[ドライブのデフラグと最適化]を選択します。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

詳しくは、[ディスク デフラグ ツール]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[ディスク クリーンアップ]の使用

[ディスク クリーンアップ]を使用すると、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

[ディスク クリーンアップ]を実行するには、以下の操作を行います。


1. タスクバーの検索ボックスで、「ディスク」または「disk」と入力し、[ディスク クリーンアップ]を選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。


[HP 3D DriveGuard]の使用（一部の製品のみ）

[HP 3D DriveGuard]は、以下のどちらかの場合にドライブを一時停止し、データ要求を中止することによって、ハードドライブを保護するシステムです。

- バッテリー電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合
- バッテリー電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合

これらの動作の実行後は、[HP 3D DriveGuard]によって、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

 **注記：**内蔵ハードドライブのみが[HP 3D DriveGuard]によって保護されます。別売のドッキングデバイスに取り付けられているハードドライブや USB ポートに接続されているハードドライブは、[HP 3D DriveGuard]では保護されません。

 **注記：**SSD（Solid State Drive）には駆動部品がないため、SSD に[HP 3D DriveGuard]は必要ありません。

詳しくは、[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP 3D DriveGuard]の状態の確認

コンピューターのドライブランプの色が変化することによって、メインハードドライブベイまたはセカンダリハードドライブベイ（一部の製品のみ）のディスクドライブが停止していることを示します。Windows デスクトップで、タスクバーの右端の通知領域にあるアイコンを使用して、ドライブが現在保護されているかどうか、およびドライブが停止しているかどうかを確認できます。

プログラムおよびドライバーの更新

プログラムおよびドライバーを定期的に更新することをおすすめします。更新によって問題が解決し、コンピューターで新しい機能やオプションを使用できるようになります。たとえば、古いグラフィックスコンポーネントは最新のゲームソフトウェアで正しく動作しない場合があります。最新のドライバーがないと、お手持ちの装置を最大限に活用できません。

HP プログラムおよびドライバーの最新バージョンをダウンロードするには、<http://www.hp.com/jp/support/> を参照してください。また、このサイトでは、更新プログラムが使用可能になったときに自動的に通知を受け取るように登録することもできます。

プログラムおよびドライバーを更新するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。
2. [自分の PC]→[更新]タブ→[更新およびメッセージを確認]の順に選択します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

コンピューターの清掃

お使いのコンピューターを安全に清掃するには、以下の製品を使用します。

- 濃度が 0.3%までのジメチルベンジル塩化アンモニウム（使い捨てシートなど、これらのシートはさまざまなブランドで販売されています）
- ノンアルコールのガラス用クリーナー
- 水と低刺激性の石けんの混合液
- 乾いたマイクロファイバーのクリーニングクロスまたはセーム皮（油分を含まない、静電気防止布）
- 静電気防止クリーニングシート

⚠ **注意**：コンピューターに修復できない傷が付いてしまう可能性があるため、強力なクリーニング溶剤は使用しないでください。クリーニング製品がコンピューターに対して安全かどうか分からない場合は、製品にアルコール、アセトン、塩化アンモニウム、塩化メチレン、炭化水素などが含まれていないかどうか確認します。

ペーパータオルなどの繊維素材を使用すると、コンピューターに傷が付く可能性があります。時間がたつにつれて、ほこりの粒子や洗浄剤がその傷の中に入り込んでしまう場合があります。

清掃手順

お使いのコンピューターを安全に清掃するため、このセクションの手順に沿って作業をしてください。

⚠ **警告**！感電やコンポーネントの損傷を防ぐため、電源が入っているときにコンピューターを清掃しないでください。

1. コンピューターをシャットダウンします。
2. ACアダプターを取り外します。
3. すべての外付けデバイスを取り外します。

⚠ **注意**：内部コンポーネントへの損傷を防ぐため、コンピューターに洗浄剤や液体を直接吹きかけないでください。表面から流れ落ちた液体によって、内部のコンポーネントに回復できない損傷を与える可能性があります。

ディスプレイの清掃

ディスプレイは、ノンアルコールのガラス用クリーナーで湿らせた柔らかい布でやさしく拭いてください。コンピューターを閉じる前に、ディスプレイが乾いていることを確認してください。

側面またはカバーの清掃

側面またはカバーを清掃するには、上記のどれかの洗浄液で湿らせた、柔らかいマイクロファイバーのクロスまたはセーム皮を使用するか、条件に合った使い捨てシートを使用してください。

📄 **注記**：コンピューターのカバーを清掃する場合は、ごみやほこりを除去するため、円を描くように拭いてください。

タッチパッド、キーボード、またはマウス（一部の製品のみ）の清掃

⚠ **警告**！感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくる場合があります。

⚠ **注意**：内部のコンポーネントへの損傷を防ぐため、キーとキーの間にクリーナーなどの液体が垂れないようにしてください。

- タッチパッド、キーボード、またはマウスを清掃するには、上記のどれかの洗浄液で湿らせた、柔らかいマイクロファイバーのクロスまたはセーム皮を使用するか、条件に合った使い捨てシートを使用してください。
- キーが固まらないようにするため、また、キーボードからごみや糸くず、細かいほこりを取り除くには、コンピューターの清掃用のブロアー（圧縮空気入りの缶）などを使用してください。

コンピューターの持ち運びまたは送付

コンピューターを持ち運んだり発送したりする必要がある場合は、装置を安全に保持するために以下の点に注意してください。

- お使いのコンピューターを持ち運んだり荷物として送ったりする場合は、以下の手順で準備を行います。
 - － 外付けドライブ等に情報をバックアップします。
 - － すべてのディスクおよびすべての外付けメディアカード類を取り出します。
 - － すべての外付けデバイスを、必要に応じてそれぞれの電源を切ってから取り外します。
 - － コンピューターをシャットダウンします。
- バックアップはコンピューターとは別に保管します。
- 飛行機に乗る場合などは、コンピューターを手荷物として持ち運び、他の荷物と一緒に預けないでください。

△ 注意：ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港のベルトコンベアなど機内持ち込み手荷物をチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

- 機内でコンピューターを使用する場合は、機内のアナウンスを聞いて、コンピューターの使用が許可されている時間を確認してください。機内でのコンピューターの使用を許可するかどうかは航空会社の判断に委ねられます。
- コンピューターまたはドライブを荷物として送る場合は、緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノー取り扱い注意」と明記してください。
- 特定の環境において、無線デバイスの使用が制限されることがあります。たとえば、航空機内、病院内、爆発物付近、および危険区域内です。コンピューターの無線デバイスの使用に適用される規定が不明な場合は、コンピューターの電源を入れる前に、使用可能かどうかを確認して許可を得てください。
- コンピューターを持って国外に移動する場合は、以下のことを行ってください。
 - － 行き先の国または地域のコンピューターに関する通関手続きを確認してください。
 - － 滞在する国または地域に適応した電源コードを、滞在する国または地域の HP 製品販売店で購入してください。電圧、周波数、およびプラグの構成は地域によって異なります。

△ 警告！ 感電、火災、および装置の損傷などを防ぐため、コンピューターを外部電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバーターは使用しないでください。

10 バックアップおよび復元

この章には、以下のプロセスに関する情報が含まれています。この章の情報はほとんどの製品で標準的な手順です。


- リカバリ メディアおよびバックアップの作成
- システムの復元および回復

詳しくは、[HP Support Assistant]アプリを参照してください。

- ▲ タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。

または

タスクバーにある疑問符のアイコンを選択します。

 **重要**：タブレットで復元操作を実行する場合、復元プロセスを開始するには、タブレットのバッテリーが最低 70%充電されている必要があります。


重要：着脱可能なキーボードが付属しているタブレットの場合は、復元プロセスを開始する前にタブレットをキーボードドックに接続してください。

リカバリ メディアおよびバックアップの作成

リカバリ メディアおよびバックアップを作成するための以下の方法は、一部の製品でのみ使用可能です。お使いのコンピューターのモデルに応じた使用可能な方法を選択してください。

- コンピューターを正常にセットアップしたら、[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) を使用して[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを作成します。この手順を実行すると、コンピューターに HP 復元用パーティションのバックアップが作成されます。バックアップは、ハードドライブが破損したり交換されたりした場合に、元のオペレーティングシステムの再インストールに使用できます。リカバリ メディアの作成について詳しくは、[68 ページの\[HP Recovery\] \(HP リカバリ\) メディアの作成 \(一部の製品のみ\)](#)を参照してください。リカバリ メディアを使用して設定できるリカバリ オプションについて詳しくは、[69 ページの Windows ツールの使用](#)を参照してください。
- Windows ツールを使用してシステムの復元ポイントを作成し、個人情報のバックアップを作成します。

詳しくは、[70 ページの\[HP Recovery Manager\] \(HP リカバリ マネージャー\) を使用した復元](#)を参照してください。

 **注記**：ストレージが 32 GB 以下の場合、Microsoft の[システムの復元]は、初期設定で無効に設定されている場合があります。

- 一部の製品では、[HP Cloud Recovery Download Tool]を使用して、[HP Recovery]メディア用に起動可能な USB ドライブを作成します。日本でのサポートについては、<https://support.hp.com/jp-ja/document/c05318900>を参照してください。日本以外の国や地域については、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアの作成 (一部の製品のみ)


可能であれば、復元用パーティションおよび Windows のパーティションがあることを確認します。**[スタート]**メニューを右クリックし、**[エクスプローラー]**→**[PC]**の順に選択します。

- お使いのコンピューターに Windows のパーティションおよび復元用パーティションが表示されない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせのうえ、お使いのシステムのリカバリメディアを入手できます。HP の Web サイトから HP のサポート窓口を検索できます。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域については、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

Windows ツールを使用してシステムの復元ポイントを作成し、個人情報のバックアップを作成できます。[69 ページの Windows ツールの使用](#)を参照してください。

- お使いのコンピューターに復元用パーティションおよび Windows のパーティションが表示されない場合は、[HP Recovery manager] (HP リカバリ マネージャー) を使用して、コンピューターを正常にセットアップした後、リカバリメディアを作成できます。[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用すると、ハードドライブが破損した場合にシステムの復元を実行できます。システムの復元を実行すると、元のオペレーティングシステムおよび工場出荷時にインストールされていたソフトウェアプログラムが再インストールされ、それらのプログラムの設定内容が再構築されます。[HP Recovery]メディアは、システムのカスタマイズや、ハードドライブを交換する場合の工場出荷時のイメージの復元にも使用できます。
 - リカバリメディアは1セットのみ作成できます。リカバリディスクは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。
 - [HP Recovery Manager]はコンピューターを検査して、メディアの容量がどれだけ必要かを判断します。
 - リカバリディスクを作成するには、コンピューターに DVD の書き込み機能を備えたオプティカルドライブが搭載されている必要があり、高品質で空の DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、または DVD+R DL ディスクを使用する必要があります。CD±RW、DVD±RW、2 層記録 DVD ±RW、または BD-RE (再書き込みが可能なブルーレイ) ディスクなどのような書き換え可能なディスクは使用しないでください。これらのディスクは、[HP Recovery Manager]ソフトウェアに対応していません。または、高品質で空の USB フラッシュドライブを代わりに使用することもできます。
 - DVD 書き込み機能に対応したオプティカルドライブが搭載されていないコンピューターで DVD リカバリメディアを使用する場合は、外付けオプティカルドライブ (別売) を利用してください。外付けのオプティカルドライブを使用する場合は、コンピューターの USB ポートに直接接続する必要があります。ドライブを、USB ハブなどの外付けのデバイスの USB ポートに接続することはできません。DVD メディアを自分で作成できない場合は、お使いのコンピューターに適したリカバリディスクを HP から入手できます。HP の Web サイトから HP のサポート窓口を検索できます。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域については、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。
 - コンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、リカバリメディアの作成を開始してください。
 - 作成処理には 1 時間以上かかる場合があります。作成処理を中断しないでください。
 - 必要に応じて、すべてのリカバリ DVD の作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。[HP Recovery Manager]は、現在の DVD への書き込みを終了します。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、続行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

[HP Recovery]メディアを作成するには、以下の操作を行います。


 **重要**：着脱可能なキーボードが付属しているタブレットの場合は、以下の手順を開始する前にタブレットをキーボードドックに接続してください。

1. タスクバーの検索ボックスで「recovery」と入力して、**[HP Recovery Manager]**（HP リカバリ マネージャー）を選択します。
2. **[リカバリメディアの作成]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

システムの復元が必要になった場合は、[70 ページの\[HP Recovery Manager\]（HP リカバリ マネージャー）を使用した復元](#)を参照してください。


Windows ツールの使用

Windows ツールを使用して、リカバリメディア、システムの復元ポイント、および個人情報のバックアップを作成できます。

 **注記**：ストレージが 32 GB 以下の場合、Microsoft の[システムの復元]は、初期設定で無効に設定されている場合があります。

詳しい内容および手順については、[Get help]（ヘルプの表示）アプリを参照してください。

- ▲ **[スタート]ボタン**→**[Get help]**アプリの順に選択します。

 **注記**：[Get help]アプリにアクセスするには、インターネットに接続する必要があります。


復元

システムを復元するための、いくつかのオプションがあります。状況および専門知識のレベルに最適な方法を選択してください。

 **重要**：すべての方法がすべての製品で使用できるとは限りません。

- Windows には、バックアップからの復元、コンピューターのリフレッシュ、および元の状態へのコンピューターのリセットを行うためのオプションが用意されています。詳しい情報については、[Get help]（ヘルプの表示）アプリを参照してください。

- ▲ **[スタート]ボタン**→**[Get help]**アプリの順に選択します。

 **注記**：[Get help]アプリにアクセスするには、インターネットに接続する必要があります。

- プリインストールされているアプリケーションまたはドライバーの問題を修正する必要がある場合は、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）の[ドライバーやアプリケーションを再インストールします]オプション（一部の製品のみ）を使用して各アプリケーションまたはドライバーを再インストールします。

- ▲ タスクバーの検索ボックスで「recovery」と入力して、**[HP Recovery Manager]**（HP リカバリ マネージャー）→**[ドライバーやアプリケーションを再インストールします]**の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。

- Windows パーティションを工場出荷時のコンテンツに復元したい場合は、HP 復元用パーティション（一部の製品のみ）の[システムの復元]オプションを選択するか、または[HP Recovery]メディアを使用できます。詳しくは、[70 ページの\[HP Recovery Manager\]（HP リカバリ マネージャー）を使用した復元](#)を参照してください。まだリカバリメディアを作成していない場合は、[68 ページの\[HP Recovery\]（HP リカバリ）メディアの作成（一部の製品のみ）](#)を参照してください。


- 一部の製品では、コンピューターの工場出荷時のパーティションおよびコンテンツを復元したい場合や、ハードドライブを交換した場合に、[HP Recovery]メディアの[ファクトリリセット]オプションを使用できます。詳しくは、[70 ページの\[HP Recovery Manager\] \(HP リカバリ マネージャー\) を使用した復元](#)を参照してください。
- 一部の製品では、復元用パーティションを削除してハードドライブの空き領域を増やせるように、[HP Recovery Manager]に[復元用パーティションの削除]オプションが用意されています。
詳しくは、[72 ページの HP 復元用パーティションの削除 \(一部の製品のみ\)](#)を参照してください。

[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) を使用した復元


[HP Recovery Manager]ソフトウェアでは、作成するか、または HP から入手した[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用するか、HP 復元用パーティション (一部の製品のみ) を使用することによって、コンピューターを元の工場出荷時の状態に復元できます。まだリカバリメディアを作成していない場合は、[68 ページの\[HP Recovery\] \(HP リカバリ\) メディアの作成 \(一部の製品のみ\)](#)を参照してください。

開始する前に確認しておくべきこと

- [HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) では、出荷時にインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードするかまたは製造元から提供されたメディアから再インストールする必要があります。

 **重要:** [HP Recovery Manager]を使用した復元は、コンピューターの問題を修正するための最後の手段として試みてください。

- コンピューターのハードドライブに障害が発生した場合は、[HP Recovery]メディアを使用する必要があります。まだリカバリメディアを作成していない場合は、[68 ページの\[HP Recovery\] \(HP リカバリ\) メディアの作成 \(一部の製品のみ\)](#)を参照してください。
- [ファクトリリセット]オプション (一部の製品のみ) を使用するには、[HP Recovery]メディアを使用する必要があります。まだリカバリメディアを作成していない場合は、[68 ページの\[HP Recovery\] \(HP リカバリ\) メディアの作成 \(一部の製品のみ\)](#)を参照してください。
- お使いのコンピューターで[HP Recovery]メディアの作成が許可されていない場合や、[HP Recovery]メディアが動作しない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせのうえ、お使いのシステムのリカバリメディアを入手できます。HP の Web サイトから HP のサポート窓口を検索できます。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/>を参照してください。日本以外の国や地域については、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

 **重要:** [HP Recovery Manager]では、ユーザーが作成したデータなどのバックアップ機能は提供されません。復元を開始する前に、保持する個人データをバックアップしてください。

[HP Recovery]メディアを使用して、以下の復元オプションのどちらかを選択できます。

 **注記:** 復元プロセスを開始すると、お使いのコンピューターで使用可能なオプションのみが表示されます。

- システムの復元：初期状態のオペレーティングシステムを再インストールし、工場出荷時にインストールされていたプログラムの設定を再構築します。
- ファクトリリセット：ハードドライブの全情報を消去してパーティションを再作成し、コンピューターを工場出荷時の状態に復元します。その後、工場出荷時にインストールされていたオペレーティングシステムおよびソフトウェアを再インストールします。

HP 復元用パーティション（一部の製品のみ）を使用すると、[システムの復元]を実行できます。

HP 復元用パーティションの使用（一部の製品のみ）

HP 復元用パーティションを使用すると、リカバリ ディスクまたはリカバリ USB フラッシュドライブなしでシステムの復元を実行できます。このような復元は、ハードドライブがまだ動作している場合にのみ使用できます。


HP 復元用パーティションから[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を起動するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで、「recovery」または「リカバリ」と入力し、**[HP Recovery Manager]**（HP リカバリ マネージャー）→**[Windows 回復環境]**の順に選択します。
または
タブレットの電源を切ります。電源ボタンを押してすぐに音量下げボタンを押したままにし、スタートアップメニューが表示されたら**[f11]**を選択します。
2. オプションメニューから**[トラブルシューティング]**を選択します。
3. **[Recovery Manager]**（リカバリ マネージャー）→**[System Recovery]**（システム リカバリ）の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを使用した復元

[HP Recovery]メディアを使用して、元のシステムを復元できます。この方法は、システムに HP 復元用パーティションが含まれていない場合、またはハードドライブが正常に動作していない場合に使用できます。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. [HP Recovery]メディアを挿入し、コンピューターを再起動します。

 **注記：** [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）でコンピューターが自動的に再起動しない場合は、コンピューターのブート順序を変更します。[71 ページのコンピューターのブート順序の変更](#)を参照してください。

3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

コンピューターのブート順序の変更

お使いのコンピューターが[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）で再起動しない場合は、コンピューターのブート順序を変更できます。これは、コンピューターが起動情報を検索するときに参照する BIOS にあり、デバイスの順番がリストになっています。オプティカルドライブまたは USB フラッシュドライブの選択を変更できます。


ブート順序を変更するには、以下の操作を行います。


1. [HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを挿入します。
2. システムの**[スタートアップ]**メニューにアクセスします。

- ▲ タブレットの電源を切ります。電源ボタンを押してすぐに音量下げボタンを押したままにし、スタートアップメニューが表示されたら**[f9]**を選択します。
- 3. 起動したいオプティカルドライブまたはUSBフラッシュドライブを選択します。
- 4. 画面に表示される説明に沿って操作します。

HP 復元用パーティションの削除（一部の製品のみ）

[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアを使用すると、HP 復元用パーティションを削除して、ハードドライブの空き領域を増やせます。

 **重要：** HP 復元用パーティションを削除した後は、[システムの復元]を実行したり、HP 復元用パーティションから[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを作成したりすることができなくなります。このため、復元用パーティションを削除する前に、[HP Recovery]メディアを作成します。[68 ページの\[HP Recovery\]（HP リカバリ）メディアの作成（一部の製品のみ）](#)を参照してください。

 **注記：** [復元用パーティションの削除]オプションは、この機能をサポートする製品でのみ使用可能です。


HP 復元用パーティションを削除するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「`recovery`」と入力して、**[HP Recovery Manager]**（HP リカバリ マネージャー）を選択します。
2. **[復元用パーティションの削除]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

11 [Computer Setup] (BIOS)、TPM、および[HP Sure Start]

[Computer Setup]の使用

BIOS (Basic Input/Output System) とも呼ばれる[Computer Setup]は、システム上のすべての入出力デバイス (ディスクドライブ、ディスプレイ、キーボード、マウス、プリンターなど) 間で行われる通信を制御します。[Computer Setup]を使用すると、取り付けるデバイスの種類、コンピューターの起動順序、およびシステムメモリと拡張メモリの容量を設定できます。

 **注記:** [Computer Setup]で設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。

[Computer Setup]の開始

- ▲ タブレットの電源を切ります。電源ボタンを押してすぐに音量下げボタンを押したままにし、スタートアップメニューが表示されたら **[F10]** を選択して **[BIOS Setup]** (BIOS セットアップ) メニューを開きます。


[Computer Setup]での移動および選択

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、ポインティングデバイスを使用して項目を選択するか、キーボードの **tab** キーや矢印キーを使用して項目を移動してから **enter** キーを押します。
- 画面を上下にスクロールするには、ポインティングデバイスを使用して画面の右上隅にある上向き矢印または下向き矢印を選択するか、キーボードの上向き矢印キーまたは下向き矢印キーを使用します。
- 開いているダイアログボックスを閉じて[Computer Setup]のメイン画面に戻るには、**esc** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

[Computer Setup]のメニューを終了するには、以下のどちらかの方法を選択します。


- 変更を保存しないで[Computer Setup]メニューを終了するには、以下の操作を行います。
画面の右下隅にある **[終了]** アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。
または
[Main] (メイン) → **[Ignore Changes and Exit]** (変更を無視して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。
- 変更を保存して[Computer Setup]メニューを終了するには、以下の操作を行います。
画面の右下隅にある **[Save]** (保存) アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。
または
[Main] → **[Save Changes and Exit]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。
変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元

 **注記**：初期設定を復元しても、ハードドライブのモードには影響ありません。

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の操作を行います。

1. [Computer Setup]を開始します。73 ページの[\[Computer Setup\]の開始](#)を参照してください。
2. **[Main]**（メイン）→**[Apply Factory Defaults and Exit]**（初期設定を適用して終了）の順に選択します。


 **注記**：一部の製品では、選択項目に**[Apply Factory Defaults and Exit]**ではなく**[Restore Defaults]**（初期設定に復元）が表示される場合があります。

3. 画面の説明に沿って操作します。
4. 変更を保存して終了するには、画面の右下隅にある**[Save]**（保存）アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

[Main]→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

 **注記**：上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティの設定は変更されません。

BIOS の更新

HP の Web サイトから、更新されたバージョンの BIOS（BIOS 更新プログラム）を入手できる場合があります。

HP の Web サイトでは、多くの BIOS 更新プログラムが「SoftPaq」という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロードパッケージには、そのパッケージのインストールやトラブルの解決方法に関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。

BIOS のバージョンの確認

[Computer Setup]（BIOS）を更新する必要があるかどうかを判断するには、まずコンピューターの BIOS バージョンを確認します。

BIOS のバージョン情報（**ROM 日付**または**システム BIOS**とも呼ばれます）にアクセスするには、**fn + esc** キーを押す（Windows を起動している場合）か、または[Computer Setup]を使用します。


1. [Computer Setup]を開始します。73 ページの[\[Computer Setup\]の開始](#)を参照してください。
2. **[メイン]**→**[システム情報]**の順に選択します。
3. 変更を保存しないで[Computer Setup]を終了するには、画面の右下隅にある**[終了]**アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

[Main]→**[Ignore Changes and Exit]**（変更を無視して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。


より新しいバージョンの BIOS があるかどうかを確認するには、75 ページの[BIOS 更新プログラムのダウンロード](#)を参照してください。

BIOS 更新プログラムのダウンロード


 **注意:** コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS 更新プログラムのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用して信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリー電源で動作しているとき、別売のドッキングデバイスに接続されているとき、または別売の電源装置に接続されているときは、BIOS 更新プログラムをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

- 電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜かないでください。外部からの電源供給を遮断しないでください。
- コンピューターをシャットダウンしたり、スリープや休止状態を開始したりしないでください。
- ケーブルやコード類の抜き差しおよびデバイスの着脱は行わないでください。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコンを選択します。
2. **[更新プログラム]**→**[更新およびメッセージを確認]**の順に選択します。
3. 画面の説明に沿って操作します。
4. ダウンロードエリアで、以下の操作を行います。


 **注記:** 操作手順は提供されているパッケージによって異なる場合があります。画面に表示される説明をお読みください。

- a. 最新の BIOS 更新プログラムを確認し、お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンと比較します。日付や名前、またはその他の、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードした更新プログラムを探すときにこの情報が必要になる場合があります。
- b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。
BIOS 更新プログラムをダウンロードする場所へのパスのメモを取っておきます。このパスは、更新プログラムをインストールするときに必要です。

 **注記:** コンピューターが職場や学校などで管理されているネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア更新プログラム（特にシステム BIOS 更新プログラム）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「エクスプローラー」と入力して**[エクスプローラー]**を選択します。
2. ハードドライブを選択します。通常は、**[ローカルディスク (C:)]**を指定します。
3. BIOS ソフトウェアをダウンロードしたときのメモを参照するなどして、更新ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
4. 更新ファイルをダブルクリックします。
BIOS のインストールが開始されます。
5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。


 **注記：** インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

ブート順序の変更

現在の起動でブート デバイスを動的に選択するには、以下の操作を行います。

1. タブレットの電源を切ります。電源ボタンを押してすぐに音量下げボタンを押したままにし、スタートアップメニューが表示されたら **[f9]** を選択して **[Boot]** (ブート) メニューを開きます。
2. ブート デバイスを選択して **enter** を選択し、画面の説明に沿って操作します。

TPM BIOS の設定 (一部の製品のみ)

 **重要：** TPM (Trusted Platform Module) 機能をこのシステムで有効にする前に、TPM の使用目的が、お住まいの地域の関連法、規制、および政令を遵守していることを確認する必要があります。また、該当する場合は、許可またはライセンスをお客様が取得する必要があります。お客様が上述の要件に違反して TPM を操作/使用したことにより法令等の遵守に関する問題が発生した場合、すべての責任はお客様が単独で完全に負うものとします。HP は、関連する責任を一切負いません。

TPM は、お使いのコンピューターのセキュリティを強化します。TPM 設定は **[Computer Setup]** (BIOS) で変更できます。

 **注記：** TPM の設定を **[Hidden]** に変更すると、TPM はオペレーティングシステムでは表示されません。

[Computer Setup] で TPM の設定値にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. **[Computer Setup]** を開始します。 [73 ページの \[Computer Setup\] の開始](#) を参照してください。
2. **[Security]** (セキュリティ) → **[TPM Embedded Security]** (TPM 内蔵セキュリティ) の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Sure Start] の使用 (一部の製品のみ)

一部のコンピューター モデルでは、**[HP Sure Start]** が構成されています。**[HP Sure Start]** は、攻撃または破損がないか確認するためにコンピューターの BIOS を監視する技術です。BIOS が破損したか攻撃された場合、**[HP Sure Start]** はユーザーが介入することなく自動的に BIOS を以前の安全な状態に復元します。

[HP Sure Start] はあらかじめ構成され、有効になっているため、ほとんどのユーザーは、**[HP Sure Start]** の初期設定の構成を使用できます。詳しい知識があるユーザーは、初期設定の構成をカスタマイズできます。

[HP Sure Start] の最新のドキュメントについては、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして **製品から探す** を選択し、画面の説明に沿って操作します。

12 [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用

[HP PC Hardware Diagnostics] (HP PC ハードウェア診断) は UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) であり、診断テストを実行して、コンピューターのハードウェアが正常に動作しているかどうかを確認できます。このツールはオペレーティングシステムの外で実行されるため、オペレーティングシステムまたはその他のソフトウェアコンポーネントが原因で発生する可能性のある問題からハードウェア障害を分離できます。


ハードウェアの交換が必要な障害が[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) で検出された場合、24桁の障害 ID コードが生成されます。この ID コードは HP のサポートでの問題の解決に役立てることができません。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) を起動するには、以下の操作を行います。

1. タブレットの電源を切ります。電源ボタンを押してすぐに音量下げボタンを押したままにすると、スタートアップメニューが表示されます。
2. **[f2]** をタップします。

BIOS は、以下の順序で 3 か所から診断ツールを検索します。


- a. 接続されている USB ドライブ

 **注記** : [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) ツールを USB ドライブにダウンロードするには、[78 ページの\[HP PC Hardware Diagnostics\] \(UEFI\) の USB デバイスへのダウンロード](#)を参照してください。


- b. ハードドライブ

- c. BIOS

3. 診断ツールが開いたら、実行する診断テストの種類を選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

 **注記** : テストを停止するには、UEFI にアクセスするために使用したボタンを押します。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の USB デバイスへのダウンロード

 **注記** : [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) のダウンロードの説明は、英語でのみ提供されています。また、.exe ファイルのみが提供されているため、Windows コンピューターを使用して、[HP UEFI Support Environment] (HP UEFI サポート環境) をダウンロードおよび構築する必要があります。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) を USB デバイスにダウンロードするには、以下の 2 つの方法があります。

UEFI の最新バージョンをダウンロードする

1. HP の Web サイト、<http://www8.hp.com/jp/ja/campaigns/hpsupportassistant/pc-diags.html> にアクセスします。[HP PC Hardware Diagnostics] のホームページが表示されます。
2. [HP PC Hardware Diagnostics 3-in-1 USB メモリ] セクションの **[ダウンロード (3-in-1 USB メモリ v.x.x.x)]** (「x.x.x」はバージョン番号) リンクを選択し、**[保存]** を選択して USB デバイスに保存します。

特定の製品向けの任意のバージョンの UEFI をダウンロードする

1. HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
2. **[ソフトウェア/ドライバ]** を選択します。
3. 製品の名前または番号を入力します。
4. お使いのコンピューターを選択し、オペレーティングシステムを選択します。
5. **[診断]** セクションで、画面の説明に沿って必要な UEFI バージョンを選択してダウンロードします。

13 仕様


入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。AC 電源は 100 ~ 240 V (50/60 Hz) の定格に適合している必要があります。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている AC アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作します。

入力電源	定格
動作電圧および電流	19.5 V DC (3.33 A、65 W の場合)
	19.5 V DC (4.62 A、90 W の場合)

 **注記：** この製品は、最低充電量 240 V rms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

 **注記：** コンピューターの動作電圧および動作電流は、システムの規定ラベルに記載されています。

動作環境

項目	国際単位系
温度	
動作時 (オプティカルディスク書き込み中)	5 ~ 35°C
非動作時	-20 ~ 60°C
相対湿度 (結露しないこと)	
動作時	10 ~ 90%
非動作時	5 ~ 95%
最大標高 (非与圧)	
動作時	-15 ~ 3,048 m
非動作時	-15 ~ 12,192 m

14 静電気対策

静電気の放電は、じゅうたんの上を歩いてから金属製のドアノブに触れたときなど、2つのものが接触したときに発生します。

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システムボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなったりすることがあります。

静電気に弱い部品を取り扱う前に、以下で説明する方法のどれかで身体にたまった静電気を放電してください。


- 部品などの取り外しまたは取り付けの手順で、コンピューターから電源コードを取り外すように指示されている場合は、まず正しくアース（接地）されていることを確認してください。
- 部品は、コンピューターに取り付ける直前まで静電気防止用のケースに入れておきます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。電子部品に触れる回数をなるべく少なくします。
- 磁気を帯びていない道具を使用します。
- 部品を取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電します。
- 取り外した部品は、静電気防止用のケースに入れておきます。

15 ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記**：特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

索引

記号/数字

- 1 本指スライド用タッチスクリーンジェスチャ 32
- 2 本指スクロール用タッチパッドジェスチャ 30
- 2 本指タップ用タッチパッドジェスチャ 30
- 2 本指ピンチズーム用タッチパッドおよびタッチスクリーンジェスチャ 30
- 3 本指スワイプ用タッチパッドジェスチャ 31
- 4 本指タップ用タッチパッドジェスチャ 31

B

- BIOS
 - 更新 74
 - 更新プログラムのダウンロード 75
 - バージョンの確認 74

Bluetooth

- デバイス 25, 26
- ラベル 22

C

- Computer Setup
 - BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) 58
 - 移動および選択 73
 - 工場出荷時設定の復元 74

E

- esc キー
 - 位置 14

F

- fn キー
 - 位置 14

G

- GPS 26

H

- HDMI
 - オーディオの設定 48
- HDMI 出力端子
 - 位置 4
 - 接続 47
- HD 対応デバイス、接続 47, 48
- HP 3D DriveGuard 63
- HP Client Security 61
- [HP Create Control Panel]ソフトウェア
 - アプリの追加 38
 - インストール 33
 - カスタマイズ 33
 - 仮想デスクトップ 41
 - 更新 42
 - 使用 33
 - ダウンロード 42
 - ツールの削除 40
 - ツールの追加 40
 - デバイスの追加 40
 - トラブルシューティング 43
 - バージョンの確認 42
 - マッピングの表示 41
- HP MAC Address Manager 28
- HP PC Hardware Diagnostics (UEFI)
 - 使用 77
 - 障害 ID コード 77
- [HP Recovery] (HP リカバリ) メディア
 - 作成 68
 - 復元 71
- HP Recovery Manager
 - 起動 71
 - ブートの問題の修正 71
- HP Sure Start
 - 使用 76
- HP Touchpoint Manager 61
- HP が提供する資料 2
- HP クイックキー、カスタマイズ 33
- HP クイックキーのカスタマイズ可能なボタン、位置 8, 10

- HP ファストチャージ 52
- HP 復元用パーティション
 - 削除 72
 - 復元 71

M

- Miracast 48

N

- NFC 27
- NFC タップエリア
 - Near Field Communication (近距離無線通信) 11
- Num Lock ランプ 12

P

- POGO ピン コネクタ、位置 20

R

- Radial Menu 放射型メニュー
 - カスタマイズ 39
 - 使用 39

T

- Thunderbolt
 - USB Type-C の位置 4
 - USB Type-C の接続 46
- TPM 設定 76

U

- USB 3.x SuperSpeed ポート (HP スリープおよび充電機能付き)、位置 4
- USB Type-C Thunderbolt ポート、位置 4
- USB Type-C ポート、接続 46

W

- Windows
 - システムの復元ポイント 67, 69
- Windows Hello
 - 使用 59

- Windows アプリケーション キー
位置 14
- Windows キー、位置 14
- Windows ツール
使用 69

- う**
- ウィルス対策ソフトウェア 60

- お**
- オーディオ 45
- オーディオ出力 (ヘッドフォン) /
オーディオ入力 (マイク) コンボ
コネクタ、位置 6
- オンスクリーンコントロールメ
ニュー
カスタマイズ 39
使用 39
- 音量上げボタン 7
- 音量下げボタン 7

- か**
- 外部電源の使用 54
- 各部
 - キーボードドック 11
 - 上面 19
 - 前面 8
 - 背面 20
 - 左側面 6
 - 右側面 4
 - 裏面 20
- カスタマイズ可能なボタン、位
置 8, 10
- 仮想デスクトップ
マッピングの表示 41
- 仮想デスクトップ オーバーレイ
カスタマイズ 10, 33
- カメラ
位置 9, 20
使用 44
- 完全なロー バッテリー状態 53
- 管理者パスワード 57

- き**
- キー
 - esc 14
 - fn 14
 - Windows アプリケーション 14
 - Windows キー 14
- キーボードおよび別売のマウス
使用 32
- キーボードおよび別売のマウスの
使用 32
- キーボードドック
 - 各部 11
 - 接続 17
 - 取り外し 18
 - ペアリング 19
 - 無線での使用 18
- キーボードのステータスランプ、
位置 13
- キーボードのバッテリー
ロー バッテリー状態の解決 55
- キーボードボタン 13
- 企業無線 LAN への接続 26
- キックスタンド、位置 5, 7, 20
- キックスタンド アクセスタブ、位
置 5, 7
- 規定情報
 - 規定ラベル 22
 - 無線認定/認証ラベル 22
- 機内モードキー 25
- 機能およびモードランプ、位置 9
- 休止状態
 - 開始 50
 - 完全なロー バッテリー状態での
開始 53
 - 終了 50

- く**
- グラフィックスソフトウェア
カスタマイズ 33
- グラフィックスソフトウェアの高
度な設定 41
- グラフィックスソフトウェアの高
度な設定のインポート 41
- クリック エリア
 - 左のタッチパッド 11
 - 右のタッチパッド 11

- け**
- 消しゴム 35

- こ**
- 公共無線 LAN への接続 26
- コネクタ
 - Miracast 48
- オーディオ出力 (ヘッドフォ
ン) /オーディオ入力 (マイク)
コンボ 6
- 電源 4
- コンピューター
 - 運搬 66
 - 清掃 64
 - 手入れ 64
 - 電源切断 50
 - 持ち運び 22, 66

- さ**
- サービス ラベル、位置 21
- 最小限のイメージ
復元 71
- 最小限のイメージ、作成 70
- サウンド設定の使用 45
- サポートされるディスク、復元
68

- し**
- システムの応答停止 50
- システムの復元 70
- システムの復元ポイント
作成 69
- システムの復元ポイント、作成
67
- 指紋、登録 59
- 指紋認証システム
位置 5, 61
- シャットダウン 50
- 出荷時に搭載されているバッテ
リ 53
- 出力端子
HDMI 47
- 情報の確認
 - ソフトウェア 3
 - ハードウェア 3
- シリアル番号 21
- シリアル番号、コンピューター
21

- す**
- スピーカー
 - 位置 19
 - 接続 44
- スマートカード
スロット 16

- スリープ
 - 開始 49
 - 終了 49
- スリープおよび休止状態
 - 開始 49
- スリープおよび休止状態の開始 49
- スロット
 - スマートカード 16
 - セキュリティロックケーブル 7
 - ペンホルダー 16
- せ**
 - 静電気対策 80
 - 製品名および製品番号、コンピューター 21
 - 赤外線カメラ ランプ、位置 9
 - セキュリティロックケーブル用スロット
 - 位置 7
 - セットアップユーティリティ
 - 移動および選択 73
 - 工場出荷時設定の復元 74
 - 選択または確認ボタン、位置 8, 9
- そ**
 - 操作キー
 - 使用 15
 - ソフトウェア
 - HP 3D DriveGuard 63
 - ウィルス対策 60
 - ディスククリーンアップ 63
 - ディスクデフラグ 63
 - ファイアウォール 60
 - ソフトウェア更新プログラム、インストール 61
- た**
 - タッチスクリーンジェスチャ
 - 1本指スライド 32
 - タッチパッド
 - クリックエリア 11
 - 使用 29
 - タッチパッドおよびタッチスクリーンジェスチャ
 - 2本指ピンチズーム 30
 - タップ 29
- タッチパッドジェスチャ
 - 2本指スクロール 30
 - 2本指タップ 30
 - 3本指スワイプ 31
 - 4本指タップ 31
- タッチパッドゾーン
 - 位置 11
- タッチパッドの使用 29
- タップ用タッチパッドおよびタッチスクリーンジェスチャ 29
- タブレット設定ファイルユーティリティ 41
- 端子
 - HDMI 4
- つ**
 - 通気孔
 - 位置 5, 7, 20
- て**
 - [ディスククリーンアップ]ソフトウェア 63
 - [ディスクデフラグ]ソフトウェア 63
 - テンキー
 - 内蔵テンキー 14
 - 電源
 - 外部 54
 - バッテリー 51
 - [電源]アイコン、使用 51, 55
 - [電源]アイコンの使用 51, 55
 - 電源コネクタ
 - 位置 4
 - 電源設定、使用 51, 55
 - 電源設定の使用 51, 55
 - 電源の管理 49
 - 電源ボタン
 - 位置 6
- と**
 - 動画 46
 - 動作環境 79
 - ドッキングステーション用ホール
 - 位置 20
- な**
 - 内蔵テンキー
 - 位置 14
- 内蔵マイク
 - 位置 9
- に**
 - 入力電源 79
- は**
 - パスワード
 - BIOS 管理者 58
 - 管理者 57
 - ユーザー 57
 - バックアップ 67
 - バックアップ、グラフィックスソフトウェアの設定 41
 - バッテリー
 - 出荷時に搭載されている 53
 - 情報の確認 52
 - 節電 52
 - 放電 52
 - ローバッテリー状態 53
 - ローバッテリー状態の解決 53
 - バッテリー充電 52
 - バッテリー電源 51
 - バッテリーに関する情報、確認 52
 - バッテリーランプ 4
- ふ**
 - ファイアウォールソフトウェア 60
 - ファンクションキー
 - 位置 14
 - ブート順序
 - 変更 71
 - 復元
 - [HP Recovery] (HP リカバリ) メディアの使用 69
 - HP Recovery Manager 70
 - USB フラッシュドライブ 71
 - オプション 69
 - 起動 71
 - サポートされるディスク 68
 - システム 70
 - ディスク 68, 71
 - メディア 71
 - 復元、グラフィックスソフトウェアの設定 41
 - 復元用パーティション
 - 削除 72

プログラムおよびドライバーの更新 64

へ

ヘッドセット、接続 45

ヘッドフォン、接続 44

ペン 23

カスタマイズ 33, 34

詳細オプション 38

調整 34, 37

ほ

ポート

USB 3.x SuperSpeed ポート (HP
スリープおよび充電機能付
き) 4

USB Type-C Thunderbolt 46

USB Type-C Thunderbolt ポー
ト 4

ボタン

音量上げ 7

音量下げ 7

カスタマイズ 33

電源 6

ボタン マッピング 41

ホットキー

マイクのミュート (消音) 15

ホットキー、使用 15

ま

マイクの消音ランプ、位置 12

マイクミュート (消音) キー、位
置 15

む

無線 LAN アンテナ

位置 9

無線 LAN デバイス 22

無線 LAN への接続 26

無線 LAN ラベル 22

無線キー 25

無線コントロール

オペレーティング システム
25

ボタン 25

無線認定/認証ラベル 22

無線ネットワーク (無線 LAN)

企業無線 LAN への接続 26

公共無線 LAN への接続 26

接続 26

動作範囲 26

無線ボタン 25

無線ランプ 25

め

メディアカードスロット、位置 5

メンテナンス

HP 3D DriveGuard 63

ディスククリーンアップ 63

ディスク デフラグ 63

プログラムおよびドライバーの
更新 64

も

モード変更上げボタン、位置 9

モード変更下げボタン、位置 9

元のシステムの復元 70

ゆ

ユーザー サポート 81

ユーザー パスワード 57

ら

ラベル

Bluetooth 22

規定 22

サービス 21

シリアル番号 21

無線 LAN 22

無線認定/認証 22

ランプ

Num Lock 12

キーボードのステータス 13

バッテリー 4

マイクのミュート (消音) 12

り

リカバリ メディア

[HP Recovery Manager]を使用し
た作成 69

作成 68

裏面 22

ろ

ロー バッテリー状態 53